

# 2017年度事業報告

公益社団法人 福岡県社会福祉士会  
会 長 青柳 壮悟

## 1. 総 括

2017年度は、第1期中期経営計画（2016年度～2020年度）の2年目として、「幸せ」があふれる社会の実現に向けて、各事業、各委員会活動を実施した。中期経営計画の期間である5年間で取り組むべき課題を見据えながら、各課題に対して解決できるよう計画的に取り組んだ。以下、重点施策を中心に事業を総括する。

まず、「公益事業の推進」については、依頼内容に応じて各委員会の委員を講師として無料で派遣した。多岐にわたる委員会活動の強みを活かし、県民のニーズに応えることができた。今後も継続し、福岡県民の福祉の向上に寄与していきたい。また、福岡県社会福祉セミナー（仮称）の開催及び福岡県ソーシャルワーク三団体連携協議会と「ソーシャルワーカーデー」の普及に関して、検討を行ったが実施には至らなかった。福岡県社会福祉セミナーについては、2018年度実施できるよう取り組みたい。

次に、「生涯研修制度の推進」については、生涯研修センターを中心に関係する委員会が協力しながら研修を企画運営した。認定社会福祉士養成のために研修の認証を計画的に進め、各分野の認証研修及びスーパービジョンを実施することで会員の資質の向上に努めた。会員活動支援に関しては、各ブロックを中心に顔の見える関係づくりが構築できており、九州北部豪雨災害が発生した際には、筑豊ブロックの幹事を中心に会員で力を合わせて、東峰村での災害支援活動を行った。福岡県と「災害時における福祉避難所等への福祉等専門人材の派遣に係る協定」を締結し、会員の派遣について福岡県及び他の協定締結団体と協議したが派遣までには至らなかった。今後、災害が発生し、行政から派遣要請があった場合に迅速に対応できるよう、理事会及び災害支援委員会を中心に体制整備を行っていきたい。

次に「権利擁護事業の推進」においては、権利擁護センターぱあととなあ福岡の運営を適正に行い、成年後見人の要請に応えられるよう人材を養成した。虐待対応については、福岡県弁護士会と協働で高齢者及び障がい者虐待に対して、チーム登録者を契約市町村へ派遣し助言を行った。

次に「社会福祉事業の推進」については、行政等委託事業を受託し、行政と連携し事業を行った。本会の専門性を発揮した社会福祉事業の実施については、新たな事業の実施に関して検討を行った。

最後に「法人統治（コーポレートガバナンス）の推進」については、2018年度、常務理事を新たに配置できるよう準備を進めるとともに事務局体制の強化を図った。今後、部門制の検討、それに伴う人員配置を進めていきたい。

以上、重点施策については理事会を中心に各委員会、各事業推進チーム、事務局が連携して取り組んだ結果、概ね達成することができた。また、2018年度は中期経営計画の3年目として課題及び検討すべき事項について計画的に取り組む、福岡県民の福祉の向上と質の高い社会福祉士の養成を行っていききたい。

## 2. 重点施策の成果

事業計画	実施状況
<p><b>1. 公益事業の推進</b></p> <p>(1) 県民向け出前講座（無料研修講師派遣事業）の実施</p> <p>(2) 福岡県社会福祉セミナー（仮称）の開催</p> <p>(3) 福岡県ソーシャルワーク三団体連携協議会と「ソーシャルワーカーデー」の普及啓発</p> <p><b>2. 生涯研修制度の推進</b></p> <p>(1) 生涯研修センターを中心とした研修等の企画運営</p> <p>(2) 認定社会福祉士養成のための研修認証、スーパービジョン実施</p> <p>(3) 会員人材育成支援と研究活動支援</p> <p><b>3. 権利擁護事業の推進</b></p> <p>(1) 権利擁護センターぱあとなあ福岡の運営</p> <p>(2) 成年後見人等養成と支援体制の強化</p> <p>(3) 法人後見・未成年後見の体制の検討及び整備</p> <p>(4) 虐待対応ソーシャルワークの展開</p> <p><b>4. 社会福祉事業の推進</b></p> <p>(1) 行政等委託事業の受託</p> <p>(2) 本会の専門性を発揮した社会福祉事業の実施</p> <p>(3) 新たな収益事業の可能性を探る研究事業の実施</p> <p><b>5. 法人統治（コーポレート・ガバナンス）の推進</b></p> <p>(1) 会員参加の法人運営</p> <p>① ブロック活動の実施と顔の見える関係づくり</p> <p>(2) 法人事務局体制の強化</p> <p>① 常務理事配置の検討</p> <p>② 事務局（社会福祉士職）事業支援職配置の検討</p> <p>③ 部門制の検討</p> <p>(3) 経営基盤の強化</p> <p>① 会計監査の実施</p> <p>② 定款変更及び公益認定の見直し検討</p>	<p>(1) 実施</p> <p>(2) 未実施</p> <p>(3) 未実施</p> <p>(1) 実施</p> <p>(2) 実施</p> <p>(3) 実施</p> <p>(1) 実施</p> <p>(2) 実施</p> <p>(3) 実施</p> <p>(4) 実施</p> <p>(1) 実施</p> <p>(2) 実施</p> <p>(3) 未実施</p> <p>(1)</p> <p>① 実施</p> <p>(2)</p> <p>① 実施</p> <p>② 実施</p> <p>③ 実施</p> <p>(3)</p> <p>① 実施</p> <p>② 未実施</p>

## 2017年度事業の実施報告

委員会名・事業チーム名：(ぱあとなあ福岡委員会)

担当理事名：長田 和宏

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>●ぱあとなあ福岡活動実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受任状況 (2018年2月末現在) 新規受任件数 個人 154件 法人 4件</li> <li>・相談件数 50件</li> <li>・2018年2月活動報告書実績 (1月末現在) 受任件数 個人 957件 法人 20件 名簿登録者数 288名 受任者 188名 (受任率65%)</li> </ul>
<p>(1) 体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①法人後見体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見部会開催 (個人後見移行審査) 2017年 4月 6日 (木) 博多事務所 6月 21日 (火) 博多事務所 8月 21日 (月) 博多事務所 10月 18日 (水) 博多事務所 11月 21日 (月) 博多事務所</li> <li>・個人後見移行件数：11件</li> </ul> </li> <li>②未成年後見受任体制整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未成年後見人養成研修参加 日 時：2017年6月10日 (土) 9:15～17:00 場 所：日本社士会事務局 参加者：2名</li> </ul> </li> <li>③成年後見制度利用支援事業推進対策PJT <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果報告 日 時：2017年 6月10日 (土) 第1回継続研修 (後掲)</li> <li>・事業評価会議 (終結) 日 時：2017年 7月19日 (水) 19:00～20:00</li> </ul> </li> <li>④業務監査委員会開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>日 時：2017年 6月29日 (木) 14:00～16:00 12月 7日 (木) 14:00～16:00 場 所：博多事務所</li> </ul> </li> </ul>
<p>(2) 運営基盤強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①会員派遣調整手数料徴収適正化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・返金対応 (7月・10月)</li> </ul> </li> <li>②リスク管理部機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動報告書チェック実施 2017年10月28日・29日、11月 5日 924件 2018年 3月24日・25日・31日 980件 ※「問題点記入シート」</li> </ul> </li> <li>③任意後見契約前報告実施検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>名簿登録者への案内 (6月継続研修)</li> <li>名簿登録者への周知 (帳票送付 10月)</li> </ul> </li> <li>④規程改廃 <ul style="list-style-type: none"> <li>(改訂)・組織・運営規程 <ul style="list-style-type: none"> <li>・名簿登録規程</li> <li>・法人後見運営規程</li> </ul> </li> <li>(廃止)・市町村長による法定後見申立の支援に関する事務細則</li> </ul> </li> </ul>

	<p>(制定)・個人後見の移行に関するガイドライン  ・ばあとなあ福岡災害対応ガイドライン</p> <p>⑤苦情への対応  ・苦情件数 6件  名簿登録者 1件・後見人 4件・法人後見 1件</p>
<p>(3) 名簿登録者の養成</p>	<p>①成年後見人材育成研修(委託研修)開催  1日目 2017年11月19日(日) 9:00~17:00  2日目 2018年1月13日(土) 9:00~17:00  3日目 1月14日(日) 9:00~17:00  4日目 1月21日(日) 9:00~17:00  場 所:クローバープラザ  受講者:27名(福岡 18名 他県 9名)</p> <p>②名簿登録研修開催  日 時:2018年2月24日(土) 9:00~17:00  2月25日(日) 9:00~17:00  場 所:クローバープラザ  受講者:13名</p>
<p>(4) 名簿登録者支援</p>	<p>①初任者支援  ・後見事務報告書事前チェック(就職時・1年目)  初任者20名</p> <p>②継続研修開催  第1回  日 時:2017年6月10日(土) 13:30~16:30  場 所:クローバープラザ  講 義:「任意後見制度について」  講 師:そーしゃる・おふいす 山口 千恵氏  ばあとなあ福岡事務統括 小幡 秀夫  報 告:「成年後見制度利用支援事業推進PJ T報告」  報告者:ばあとなあ福岡委員会委員 山口 千恵  受講者:66名</p> <p>第2回  日 時:2017年8月6日(日) 13:30~16:30  場 所:クローバープラザ  テーマ:「経済的困難を抱える方の  法的課題解決に向けて」  講 師:法テラス福岡 常勤弁護士 植竹 克典氏  副所長 稲吉 江美氏  受講者:53名</p> <p>第3回  日 時:2017年11月11日(日) 13:30~16:40  場 所:クローバープラザ  講 義:「相続・遺言」  講 師:司法書士 加藤 丈雄氏  受講者:60名</p> <p>第4回  日 時:2018年1月28日(日) 10:00~16:30  場 所:クローバープラザ  テーマ:「意思決定支援に基づく権利擁護実践研修」  講 師:ばあとなあ福岡事務統括 小幡 秀夫  講 師:ばあとなあ福岡委員会委員 徳淵 義信</p>

	<p>受講者：56名</p> <p>③名簿登録者更新研修開催</p> <p>日 時：2018年 3月10日（土）13：30～16：30 場 所：クローバープラザ</p> <p>日 時：2018年 3月11日（日）13：30～16：30 場 所：ウェルとばた</p> <p>講 演：「成年後見人として社会福祉士が 守らなければいけないこと」</p> <p>講 師：ばあとなあ福岡副委員長 下川 清澄</p> <p>報 告：「2017年度活動報告・2018年度方針説明」</p> <p>報告者：ばあとなあ福岡委員会委員長 岡田 正昭</p> <p>受講者：63名</p> <p>④意思決定支援研修会参加</p> <p>日 時：2017年 8月 4日（金）～ 5日（土） 場 所：タイム24ビル（東京）</p>
(5) 相談・普及啓発活動	<p>①相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話相談・来所相談実施</li> <li>・相談件数 50件（電話相談 45件 来所相談 5件）</li> </ul> <p>②成年後見活用講座開催</p> <p>第1回</p> <p>日 時：2017年 6月11日（日）9：30～17：00 場 所：クローバープラザ</p> <p>講 義：「成年後見制度の概要」</p> <p>講 師：弁護士 篠木 潔 氏</p> <p>演 習：「申立ての講義と演習」</p> <p>講 師：ばあとなあ福岡委員会委員 池田 将樹</p> <p>受講者：71名</p> <p>第2回</p> <p>日 時：2017年 11月12日（日）9：30～17：00 場 所：クローバープラザ</p> <p>受講者：68名</p> <p>③ばあとなあ案内パンフレット作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関版パンフレット作成中</li> </ul>
(6) 地域支援体制整備	<p>①名簿登録者交流会開催</p> <p>〈筑豊ブロック〉</p> <p>日 時：2017年 7月29日（土）13：30～16：45 場 所：立岩公民館（飯塚市）</p> <p>参加者：6名</p> <p>〈粕屋・宗像地区〉</p> <p>日 時：2017年 8月 5日（土）13：30～16：45 場 所：東郷コミュニティセンター（宗像市）</p> <p>参加者：9名</p> <p>〈北九州ブロック〉</p> <p>日 時：2017年 8月19日（土）13：30～16：45 場 所：ウェルとばた（北九州市）</p> <p>参加者：15名</p> <p>〈福岡・筑紫・糸島地区〉</p> <p>日 時：2017年 8月20日（日）13：30～16：45 場 所：レンタルルームQ（福岡市）</p> <p>参加者：25名</p>

	<p>〈筑後ブロック〉  日 時：2017年 9月 3日（日）13：30～16：45  場 所：久留米市役所（久留米市）  参加者：17名  ・福岡地区再分割  ○福岡北・糸島地区      ○福岡南・筑紫地区</p> <p>②事例検討会（勉強会）の開催  ・福岡ブロック勉強会  日 時：2017年 4月14日（金）19：00～20：30  6月 9日（金）19：00～20：30  8月 4日（金）19：00～20：30  10月 6日（金）19：00～20：30  12月 3日（土）16：00～17：00  2018年 2月18日（土）13：30～15：30  場 所：博多事務所  ・粕屋・宗像地区勉強会  日 時：2017年 4月19日（水）19：00～20：30  9月 6日（水）19：00～20：30  場 所：東郷コミュニケーションセンター  日 時：2017年11月 8日（水）19：00～20：30  2018年 2月14日（水）19：00～20：30  場 所：河東コミュニケーションセンター  ・北九州司法書士との勉強会  日 時：2017年 7月 7日（金）19：00～20：00  11月10日（金）19：00～20：00  2018年 3月16日（金）19：00～20：00  場 所：秘密基地（小倉北区）  ・北九州地区事例検討会  日 時：2018年 2月22日（木）19：00～21：00  場 所：小倉南生涯学習センター  ・筑豊リーガル&amp;ぱあとなあ事例検討会  日 時：2017年 6月16日（金）19：00～20：30  10月20日（金）19：00～20：15  2018年 1月26日（金）19：00～20：30  場 所：直方中央公民館・飯塚立岩公民館</p> <p>③メンター（身近な相談役）制度の実施  ・メンターの配置      14名  北九州2名 筑豊3名 宗像3名 福岡3名 筑後3名  ・メンター相談件数      51件</p>
<p>(7) 他機関・他部門との連携</p>	<p>①成年後見制度利用促進基本計画  ・基本計画市町村説明会（国主催） 参加  日 時：2017年 6月22日（木）14：00～15：30  場 所：アクロス福岡  ・専門職協議会  日 時：2017年 7月 3日（月）19：00～20：30  場 所：博多事務所  ・福岡市成年後見制度関係機関意見交換会  日 時：2017年11月30日（木）10：00～12：00  2018年 3月23日（金）14：00～16：00  場 所：福岡市役所</p> <p>②家裁家事関係機関連絡協議会参加  ・大牟田地区成年後見事務連絡会  日 時：2017年 7月 5日（水）16：00～17：00  場 所：福岡家庭裁判所大牟田支部</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筑豊地区家裁連絡協議会 日 時：2017年 9月 19日（火） 13：10～14：40 場 所：福岡家庭裁判所飯塚支部</li> <li>・福岡家裁家事関係機関連絡協議会 日 時：2017年 11月 7日（火） 13：30～16：00 場 所：福岡家庭裁判所</li> <li>・小倉支部家事事件連絡協議会 日 時：2017年 12月 13日（水） 13：30～16：00 場 所：福岡家庭裁判所小倉支部</li> <li>・専門職後見人等職務説明会 日 時：2018年 1月 30日（火） 14：00～15：00 場 所：福岡家庭裁判所本庁</li> <li>③ばあとなあ担当者会議参加</li> <li>・都道府県ばあとなあ連絡協議会 日 時：2017年 5月 13日（土）・14日（日） 場 所：全理連ビル（東京）</li> <li>・九州・沖縄ブロックばあとなあ連絡会議 日 時：2017年 11月 26日（日） 12：30～15：00 場 所：九州保健福祉大学</li> <li>④他機関への委員・講師の派遣 〈委員派遣〉</li> <li>・福岡市社協日常生活自立支援事業 契約締結審査会 審査員：ばあとなあ福岡委員会委員長 岡田 正昭</li> <li>・北九州市社協権利擁護・市民後見センター運用委員会 委員：ばあとなあ福岡委員会副委員長 小田 一恵</li> <li>・福岡県日常生活自立支援事業 契約締結審査会 委員：ばあとなあ福岡委員会委員長 岡田 正昭</li> <li>・筑後地区高齢者障害者支援連絡協議会 委員：ばあとなあ福岡委員会委員 上釜 光輝</li> <li>〈講師派遣〉</li> <li>・しょうがい福祉講座（那珂川町福祉センター） 講師：ばあとなあ福岡委員会委員 林田 久美</li> <li>・筑後地区高障連研修会（大川市文化センター） 講師：ばあとなあ福岡事務統括 小幡 秀夫</li> <li>・成年後見人等養成研修会（九州北部税理士会館） 講師：ばあとなあ福岡委員会委員 徳渕 義信</li> <li>・福岡県知的障がい者相談員研修会（クローバープラザ） 講師：ばあとなあ福岡事務統括 小幡 秀夫</li> <li>・福岡県市民後見推進研修会（福岡県吉塚合同庁舎） 講師：ばあとなあ福岡事務統括 小幡 秀夫</li> </ul>
<p><b>総括（2018年度に向けた課題等）</b></p> <p>重点実施項目である（1）体制の整備・強化、（2）研修体系の確立、（3）地域支援体制の定着、（4）関係機関との連携については、全般的に当初計画通りの実施ができたが、次年度に向けて、引き続き以下の課題に取り組んで行く必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（1）体制の整備・強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>①法人後見の指導・監督体制の強化</li> <li>②苦情への対応</li> </ul> </li> <li>（2）研修体系の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>①名簿登録者の確保及び質の担保</li> <li>②更新研修受講義務の徹底</li> </ul> </li> <li>（3）地域支援体制の定着 <ul style="list-style-type: none"> <li>①名簿登録者交流会参加率の向上</li> <li>②メンターの配置活用</li> </ul> </li> <li>（4）関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>①利用促進体制整備研修会開催</li> <li>②地域連携ネットワークづくり</li> </ul> </li> </ul>

委員会名・事業チーム名：(高齢者・障害者虐待対応事業推進チーム) 担当理事名：稲吉 江美

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>福岡高齢者・障害者虐待対応チームの活動を推進する</p>	<p>チーム登録者 (2018年3月31日現在)            福岡県弁護士会 53名            福岡県社会福祉士会 48名            2017年度契約市町村等            福岡県、1広域連合、15市、1町            個別ケース会議等への派遣            養護者による高齢者虐待 22件            養介護施設従事者等による高齢者虐待 4件            養護者による障害者虐待 7件            福祉施設従事者等による障害者虐待 1件            使用者による障害者虐待 0件            研修会等への講師派遣            弁護士単独 2件            社福士単独 6件            弁護士・社福士ペア 6件            運営管理委員会(12回/年)を開催して派遣報告・報告事例検討、必要な助言のフィードバックを行いチームの質を担保した。</p>
<p>虐待対応チーム登録者研修会の開催</p>	<p>チーム登録者研修会(第1回)            日時：2017年7月8日(土)13:00~16:30            場所：弁護士会館            内容：チームマニュアルの活用、養護者による高齢者虐待事例演習            受講者：50名             チーム登録者研修会(第2回)            日時：2017年7月26日(土)9:30~16:30            場所：弁護士会館            内容：養護者による障害者虐待、養介護施設従事者等による高齢者虐待事例演習によるチームの助言のポイント            受講者：51名</p>
<p>日本弁護士連合会・日本社会福祉士会主催研修への参加</p>	<p>虐待対応専門職チーム経験交流会            日時：2017年9月16日(土)12:30分~17:00            場所：弁護士会館講堂クレオ(東京都)            内容：チームの助言等の向上のための研修会            派遣者：1名(本会) ※県弁護士会から1名</p>
<p>日本社会福祉士会主催研修への参加</p>	<p>都道府県ぱあとなあ連絡協議会            日時：2017年5月13日(土)14日(日)2日間            場所：全理連ビル(東京都)            内容：高齢者・障害者虐待について福岡県の取組を報告、他県報告運営上の課題共有            派遣者：1名</p>



	<p>現場のための障害者虐待防止研修～施設従事者編～</p> <p>日 時：2017年11月18日（土）19日（日）2日間</p> <p>場 所：タイム24ビル（東京都）</p> <p>内 容：日本社会福祉士会が開発した障害福祉サービス提供者向け虐待防止研修</p> <p>派遣者：2名</p>
<p><b>総括 （2018年度に向けた課題等）</b></p> <p>2017年度は、会議・講師派遣計47件であった。2016年度は53件で数自体の減少はあるものの福岡県を北南に分けた県の事例検討会へ弁護士・社福士8名を派遣するなど研修規模自体は大きい。また市町からも事例検討会等への依頼も微小であるが増加している。養護者による虐待個別ケース会議事例は緊急的に市町村権限の活用が必要な事案も多く、行政としての手続き・支援実施の際の具体的なリスクマネジメントなど、専門性の高い助言が求められている。施設従事者等の判断会議においては、施設の種別も多岐にわたり、介護保険法・老人福祉法や指導・処分時の根拠法令の理解、立入調査（準備・メンバーの役割・帳票の使用など）から虐待の認定、改善指導の内容等に対してまで助言を必要とすることが多く、メンバーの専門性の向上が喫緊の課題である。</p> <p>(1) チーム登録者研修において、会議前の情報収集、招集メンバーの助言、基本的な虐待ソーシャルワークの流れを理解する。</p> <p>(2) 運営管理委員会において派遣チームより助言の報告振り返りを行い、スキル向上を目指す。</p> <p>(3) 事例に応じて派遣前に運営管理委員会にて検討し、チームに事前助言を行う。</p> <p>(4) 障がい者分野においては、施設従事者1件、使用者による虐待事案0件であるため、本会主催の研修にフィードバックするなどチーム外の取組と連携する。</p> <p>弁護士会との連携を十分に取りながら、虐待対応の責務を担う市町村・従事者等の後方支援を図り、当事者の権利回復、生活の安定に努めたい。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
福岡県長期入院被保護者CA事業の実施	福岡県域8か所(田川、粕屋、遠賀、鞍手、筑紫、京築、北筑後及び南筑後)の保健福祉環境事務所に、コーディネート・アドバイザー(CA)を派遣して、当該保護課のケースワーカーと連携のうえ、受け入れ条件が整えば退院が可能な患者(被保護者)の退院・社会復帰を支援した。156名の対応件数のうち、「退院・社会復帰」が86名、対応継続中が42名、支援中止が28名であった。対応件数の55.1%が退院・社会復帰に結びついた。目標の70名を大幅に上回る実績となった。
宮若市長期入院被保護者CA事業の実施	宮若市役所保護課にコーディネート・アドバイザー(CA)1名を派遣して、当該保護課ケースワーカーと連携のうえ、受け入れ条件が整えば退院が可能な患者(被保護者)の退院・社会復帰を支援した。5名の対応件数のうち、退院・社会復帰は1名、対応継続中は3名、中止は1名であった。
直方市長期入院被保護者CA事業の実施	直方市役所保護課にコーディネート・アドバイザー(CA)1名を派遣して、当該保護課ケースワーカーと連携のうえ、受け入れ条件が整えば退院が可能な患者(被保護者)の退院・社会復帰を支援した。22名の対応件数のうち、退院・社会復帰した者は12名、対応継続中の者は6名、支援中止の者は4名であった。また、今年度9件の障害年金裁定請求を行った。
定例CA会議の開催	毎月1回、博多事務所にてCA会議を開催し、CA相互のピア・スーパーバイズを含め、退院・社会復帰支援の現状と課題を協議、検討した。また、住まいの社会資源情報の共有化を図り、本事業の推進に寄与した。会議に本庁保護・援護課の担当者を招聘し、本事業の趣旨・役割について意見交換を実施し、事業の円滑化につながった。
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> <p>(1) 本事業は、2007年にセーフティネット支援対策等事業費補助金の「生活保護精神障害者退院促進事業」(国庫補助率10/10)として開始されたが、平成27年度からは国庫補助率が3/4に削減された。平成29年度の県CA事業は、退院後の支援業務が新たに加わり、契約日数が1,067日の事業となった。入院患者については、退院可能な状況であればできるだけ早い段階から退院に向けた検討をしている。2018年度はやむを得ず再入院になったものに対し、その要因を検証し、退院後支援の資質の向上を図りたい。社会保障審議会障害者部会において「精神障がい者にも対応した地域包括システムの構築」の成果目標として、精神病床における1年以上の長期入院患者数(2020年までに最大3万9千人減)や保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置などが示されている。長期入院患者の退院・社会復帰支援と退院・社会復帰者の地域定着を進めていくために、コーディネート・アドバイザー、担当ケースワーカーはもとより、地域の保健・医療・福祉関係者との連携強化を図り、役割を遂行していく。</p> <p>(2) 2018年度も、県との意思疎通を更に重視し、定期的な懇談・事業の進捗状況を報告していく。また、各福祉事務所(県・宮若・直方)に訪問し、担当課長との意見交換も実施する。</p>	

委員会名・事業チーム名：(福岡市子どもの健全育成支援事業推進チーム) 担当理事名：菊澤 眞一郎

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>相談支援員とのミーティングおよびスーパービジョンの実施</p>	<p>福岡市子どもの健全育成支援事業定例会を毎月1回開催(毎月第2火曜日)し、その中でスーパーバイザーによる研修、相談支援員の事例検討を計6回行った。</p> <p>スーパーバイザーの定期的な各区訪問により相談支援員へのスーパービジョン、フォローアップを行った。</p> <p>母子生活支援施設の見学を実施し、相談支援員の知識と資質の向上を図った。</p>
<p>市とのカンファレンス、事業報告</p>	<p>毎月の定例会にて各区の相談支援状況が報告され、市と課題、懸案事項の共有化、検討を実施した。</p> <p>2017年度は12回実施した。</p>
<p>関係者会議(市担当者、相談支援員、事業担当理事、本会三役等)</p>	<p>生活困窮世帯支援拡充、訪問型学習支援関連で5回、各区情報交換等で13回の関係者会議を実施した。</p>
<p>効果測定</p>	<p>年間の実績をまとめ、年間報告書を作成した。</p> <p>効果測定は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との継続的關係について進展した(132件)</li> <li>・子どもとの継続的關係について進展した(128件)</li> </ul> <p>など12項目について年3回(4~7月・8~11月・12~3月)行い、その集計を年間実績としている。</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>2016年度に関わった事例から2017年度に求められる支援内容と課題を再検討した。子どもの健全育成に向けた取り組みの充実を図り、子どもの学習支援と保護者の生活支援を支える目的で関係者の連携、地域、社会資源の開発を今後も求めていく。</p> <p>現在、福岡市が進めている生活困窮世帯支援拡充、訪問型学習支援関連についても協力体制を構築していく。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
当該事業の推進にかかわる体制整備	関係機関・団体、当該事業の担当者等との情報共有を行い、意見交換を通じて本事業の運営ならびに体制の整備を図った。 事業実施に伴う書類の書式等の改善を行った。
定例会議および市とのカンファレンスの実施	毎月、市担当者及等の関係者カンファレンス会議を実施し、事業の取り組み状況、課題の共有化、支援の方向性等を確認し、事業が円滑に実施できるように協議検討を行った。また、担当ケースワーカーとのケース会議を随時行い、ケース内容に応じた支援を図った。
年間実績報告の作成、事業の効果検証	年間の実績をまとめ、年間実績報告書を作成した。家庭訪問や来所面談等を通して、学校や関係機関・社会資源等との連携を図りながら、生活環境や就学・進学の課題等の世帯が抱える課題についての支援を行った。支援世帯の子ども的高校進学率の向上を目指し、相談支援を行うと共に、高校を卒業した子どもの相談等にも対応し、子どもがいつでも相談できる体制を整備している。
研修会の講師派遣	課内研修会の講師として、事業の内容及び成果、実績等について講話を行い、支援の方向性や課題の共有化を図った。研修に必要な資料等を行政と協力して作成し、産学官の連携体制についての報告を行った。本事業の視察訪問研修会では、研修会講師として行政と連携した就学支援の取り組みについて、講話を行っている。
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>2018年度も引き続き久留米市より本事業(子どもの学習支援事業)を受託した。久留米市、関係機関との連携体制を強化し事業を実施しており、行政からの評価を得ることができた。支援対象世帯を中学生以上から、小学校高学年にまで広げていることから、2017年度からは、業働日数を週3日体制から、週5日体制としている。</p> <p>支援対象世帯が年々増加している現状があり、相談支援員2人体制での対応に限界が生じてくる可能性があるために、定例会及びカンファレンス等を行い、業務内容の精査及び、支援実施状況等の確認を行い、支援対象者ニーズに対応できるように業務を遂行していく必要がある。</p> <p>2018年度は、事業の実施体制を整備するため、関係機関等との連携強化を継続していく。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告																																																																											
<p>2015年度より宮若市からの委託を受け、生活困窮者自立支援法に定める生活困窮者自立支援事業について、次の主任相談支援員の業務を行う。</p> <p><b>【契約書第1条】</b></p> <p>①相談業務全般のマネジメント</p> <p>②他の支援員の指導育成</p> <p>③支援困難なケースへの対応など高度な支援</p> <p>④社会資源の開拓、連携等</p> <p>⑤支援調整会議の開催及び運営</p> <p>⑥住宅確保給付金に係る受付業務</p>	<p>1. 相談実績</p> <table border="0"> <tr> <td>平成29年度 新規相談受付件数</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>平成28年度からの継続支援件数</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>平成27年度からの継続支援件数</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td><u>合計支援件数</u></td> <td><u>70件</u></td> </tr> </table> <p>2. 新規相談者の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>男性：26件</td> <td>女性：27件</td> <td><u>合計 53件</u></td> </tr> </table> <p>3. 相談、支援回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">本人</th> <th colspan="4">関係者</th> <th rowspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">面談</th> <th rowspan="2">電話</th> <th colspan="2">面談</th> <th colspan="2">電話</th> </tr> <tr> <th>家族</th> <th>関係者</th> <th>家族</th> <th>関係者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>50</td> <td>343</td> <td>55</td> <td>506</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 支援状況（重複あり）</p> <table border="1"> <tr><td>プラン作成件数</td><td>19</td></tr> <tr><td>就労支援プラン件数</td><td>10</td></tr> <tr><td>住居確保給付金支給決定数</td><td>1</td></tr> <tr><td>就労者数（プランなしを含む）</td><td>14</td></tr> <tr><td>障害者支援事業所通所決定数</td><td>2</td></tr> <tr><td>社協貸付決定数</td><td>6</td></tr> <tr><td>障害年金支給決定数</td><td>3</td></tr> </table> <p>5. 生活困窮者自立支援関係課と連携の内容</p> <table border="1"> <tr><td>保護人權課</td><td>事務局、生活保護に関すること</td></tr> <tr><td>建築都市課住宅管理</td><td>市営住宅</td></tr> <tr><td>税務収納課（収納対策）</td><td>滞納税、ファイナンシャルプランナー相談</td></tr> <tr><td>水道課</td><td>水道料金滞納</td></tr> <tr><td>子育て支援課</td><td>一人親世帯や子供の生活困窮の連携</td></tr> <tr><td>健康福祉課（高齢者社）</td><td>介護保険料滞納</td></tr> <tr><td>同上（障害者社）</td><td>自立支援医療、障害者手帳、福祉サービス受給者証の申請</td></tr> <tr><td>同上（地域包括）</td><td>同居の家族に関すること</td></tr> <tr><td>産業観光課</td><td>多重債務、他機関生活再生相談事業に関すること</td></tr> <tr><td>市民生活課</td><td>住民票等申請、国民健康保険、国民年金、障害基礎年金に関すること</td></tr> <tr><td>総務課</td><td>無料弁護士相談に関すること</td></tr> <tr><td>教育委員会（学校教課）</td><td>子どもの奨学金について</td></tr> <tr><td>ぱれっと</td><td>引きこもり支援に関すること</td></tr> </table>	平成29年度 新規相談受付件数	53件	平成28年度からの継続支援件数	13件	平成27年度からの継続支援件数	4件	<u>合計支援件数</u>	<u>70件</u>	男性：26件	女性：27件	<u>合計 53件</u>	本人		関係者				合計	面談	電話	面談		電話		家族	関係者	家族	関係者			50	343	55	506		プラン作成件数	19	就労支援プラン件数	10	住居確保給付金支給決定数	1	就労者数（プランなしを含む）	14	障害者支援事業所通所決定数	2	社協貸付決定数	6	障害年金支給決定数	3	保護人權課	事務局、生活保護に関すること	建築都市課住宅管理	市営住宅	税務収納課（収納対策）	滞納税、ファイナンシャルプランナー相談	水道課	水道料金滞納	子育て支援課	一人親世帯や子供の生活困窮の連携	健康福祉課（高齢者社）	介護保険料滞納	同上（障害者社）	自立支援医療、障害者手帳、福祉サービス受給者証の申請	同上（地域包括）	同居の家族に関すること	産業観光課	多重債務、他機関生活再生相談事業に関すること	市民生活課	住民票等申請、国民健康保険、国民年金、障害基礎年金に関すること	総務課	無料弁護士相談に関すること	教育委員会（学校教課）	子どもの奨学金について	ぱれっと	引きこもり支援に関すること
平成29年度 新規相談受付件数	53件																																																																											
平成28年度からの継続支援件数	13件																																																																											
平成27年度からの継続支援件数	4件																																																																											
<u>合計支援件数</u>	<u>70件</u>																																																																											
男性：26件	女性：27件	<u>合計 53件</u>																																																																										
本人		関係者				合計																																																																						
面談	電話	面談		電話																																																																								
		家族	関係者	家族	関係者																																																																							
		50	343	55	506																																																																							
プラン作成件数	19																																																																											
就労支援プラン件数	10																																																																											
住居確保給付金支給決定数	1																																																																											
就労者数（プランなしを含む）	14																																																																											
障害者支援事業所通所決定数	2																																																																											
社協貸付決定数	6																																																																											
障害年金支給決定数	3																																																																											
保護人權課	事務局、生活保護に関すること																																																																											
建築都市課住宅管理	市営住宅																																																																											
税務収納課（収納対策）	滞納税、ファイナンシャルプランナー相談																																																																											
水道課	水道料金滞納																																																																											
子育て支援課	一人親世帯や子供の生活困窮の連携																																																																											
健康福祉課（高齢者社）	介護保険料滞納																																																																											
同上（障害者社）	自立支援医療、障害者手帳、福祉サービス受給者証の申請																																																																											
同上（地域包括）	同居の家族に関すること																																																																											
産業観光課	多重債務、他機関生活再生相談事業に関すること																																																																											
市民生活課	住民票等申請、国民健康保険、国民年金、障害基礎年金に関すること																																																																											
総務課	無料弁護士相談に関すること																																																																											
教育委員会（学校教課）	子どもの奨学金について																																																																											
ぱれっと	引きこもり支援に関すること																																																																											
<p><b>総括（2018年度に向けた課題等）</b></p> <p>2017年度は以下の点について重点的に取り組み、成果があった。</p> <p>(1) アセスメントを充実させることで、一度の面接では発見できない生活課題を見つけることができた。またその過程で、同居家族の引きこもりが発見され、支援に繋がった。</p>																																																																												

(2) 情報収集を強化し、他課や他機関とのネットワークを充実させることで、相談者の就労支援や制度、サービスの利用へと繋がった。

(3) アウトリーチすることで相談者に対するきめ細かい支援ができた。本事業は、初回面談ですべての課題を判明させることは難しい。相談者との信頼関係を構築しつつ、計画的な支援を行い、その際には「世帯支援」を念頭に置いた包括的な支援を組立てていく。また相談者に「寄り添う」形で支援を行い、自立を促すと共に関係機関への繋ぎや早期就労や就労定着を支援していく。

2017年度事業計画	2017年度事業報告
福岡市ホームレス巡回相談事業・アフターケア事業の実施	<p>ホームレス巡回相談事業においては、福岡市内を9エリアに分け、巡回・訪問型のアウトリーチの手法を用いて巡回相談事業を実施。福岡市総務部生活自立支援課・博多区保護3課の所轄部局及び関係機関等と連携を図りながら、路上生活者の相談支援及び居宅設定等に付随する手続き等の支援を行った。2017年度は新規対応者71名含む延べ1634名への支援を行った。</p> <p>アフターケア事業においては、巡回相談支援から居宅設定を行った方々並びに福岡市緊急一時宿泊事業及び就労自立支援センター等からの退所者を対象に原則1年間を目途に居宅生活のサポートを行った。2017年度は新規対象者53名含む延べ295名への支援を行った。</p> <p>※事務所開設 年中無休(12月31日～1月3日除く)</p>
ホームレスの実態に関する全国調査(概数調査)の受託	<p>2018年1月17日～19日で実施。当該事業相談員および本会会員の協力を得て、福岡市一円を巡回し、目視によってホームレス数の調査を行なった。主に「都市公園」「河川」「道路」「駅舎」「その他の施設」等の区分ごとにそれぞれカウントした。</p>
関係機関主催会議への参加	<p>定期的開催される関係機関主催の定例会議に参加し、当該事業の円滑な実施の増進を図った。</p> <p>①管理課指導員・巡回相談員連絡会支援調整会議(福祉センターあおぞら)(毎月)</p> <p>②就労自立支援センター会議(毎月)</p> <p>③抱撲館シェルター会議(毎月)</p> <p>④福岡県ホームレス自立支援推進協議会(3月)</p> <p>⑤関係機関連携会議(意見交換会)(年3回)</p>
職員研修の実施	<p>①内部研修の開催(6月、10月、2月)</p> <p>②SVによるスーパービジョンの実施(5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月)</p> <p>③福岡市新任保護課職員研修への参加(5月2名)</p> <p>④就労自立支援センター職員への参加(11月5名、2月1名)</p>
定例会の開催	<p>毎月第3水曜日にアフター会議、第4金曜日に報告会を開催した。当該事業の進捗状況及びケース検討を行いながら、事業の現状と課題を協議・検討した。またケース検討の中では当該事業に係る制度施策等の社会資源の情報を共有し、事業の推進に寄与できた。</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>定住型ホームレスは減少しており、概数調査で確認できたホームレス数も微減傾向にある。しかし、ホームレス状態の人の生活保護件数はここ数年横ばいとなっており、減少していない。定住場所が無い移動型ホームレス、ネットカフェ等を利用する見えにくいホームレスの割合が増加し、今までの巡回では接触できていない方が多数いるものと思われる。</p> <p>また、現在接触できているホームレスについては、高齢化、長期化が進んでおり、粘り強い</p>	

声掛けによる路上脱出支援が必要となっている。

より多くのホームレスと接触し、支援を充実させるには、事務作業の簡素化、効率化を図り、巡回回数の増加を図るとともに、巡回のパターンや内容も考慮する必要がある。

アフターケアについては、アフターケア終了者に対するアンケート郵送調査の返信率が低く、アフターケアの効果、終了後の確認が不十分な状況となっている。確認方法も含めて見直しが必要である。

委員会名・事業チーム名：(事業部推進会議)

担当理事名：百枝 孝泰

2017年度事業計画	2017年度事業報告
事業推進会議の開催	日 時：2017年6月19日(月) 19:00～21:00 場 所：博多事務所 内 容：委託事業における個人情報の管理および持ち運びに関するガイドラインの策定
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> (1) 2018年度からについては、本会に常務理事を配置することにより当該会議の設置についてその役割を終えることとなる。  (2) 但し、今後も必要に応じて常務理事を中心としながら、各事業の担当理事と連携、協働しながら事業関係チームの円滑な実施、運営に努めていきたい。	



2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>福岡県福祉サービス第三者評価機関としての第三者評価実施</p>	<p>第三者評価の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①次のとおり計 16 件実施した。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的養護関係施設 15 件                             <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 児童養護施設 10 件</li> <li>母子生活支援施設 4 件</li> <li>乳児院 1 件</li> </ul> </li> <li>・特別養護老人ホーム 1 件</li> </ul> </li> <li>②評価決定委員会を計 8 回開催し評価を確定した。</li> <li>③福岡県社協、全社協を通じ評価結果を公表した。</li> </ul>
<p>評価調査機関としての基盤強化</p>	<p>評価調査機関としての基盤強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①評価調査者の人材育成及び増員 [外部研修]                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・県社協評価調査者養成研修への受講者派遣 (新規に 3 名増員)</li> <li>・県社協評価調査者継続研修への受講者派遣 (10 名派遣)</li> <li>・全社協社会的養護関係施設評価調査者養成研修へ受講者派遣 (1 名派遣)</li> <li>・全社協評価調査者継続研修へ受講者派遣 (3 名派遣)</li> </ul> </li> <li>②評価調査者の人材育成 [内部研修]                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価調査者継続研修会の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>日 時：2018 年 1 月 21 日 (日) 13:00～16:30</li> <li>場 所：クローバープラザ</li> <li>内 容：①新しい制度に関わる理念の理解や情報の確認等</li> <li>②第三者評価に際しての留意点</li> <li>③グループワーク (訪問調査や評価決定、その他運用に関すること)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>受講者：24 名</li> <li>③受審体制の基盤整備                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価調査者決定要領の見直し検討</li> </ul> </li> <li>④県内評価機関との連携                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・全社協評価調査者リーダー研修へ委員 1 名派遣</li> <li>・県社協評価調査者継続研修への講師派遣 (委員 1 名派遣)</li> <li>・県社協による調査機関連絡会議への参加 (委員長、事務局の 2 名参加)</li> </ul> </li> </ul>
<p><b>総括 (2018 年度に向けた課題等)</b></p> <p>本年度、社会的養護施設については第 2 クールの 3 年目(最終年度)で、本年度受審件数は 16 件であった。3 年前 25 件。調査機関の増加(2 法人⇒4 法人)</p> <p>2018 年度は、社会的養護関係施設の第 3 クールの 1 年目で、評価予定件数が最も少ない (2 件程度) 年に当たるため、保育所や高齢、障がい関係施設も合わせて受審件数は 6 件程度と見込む。</p> <p>2018 年度は社会的養護関係施設等の評価基準が改定されるため、評価帳票類の改定を行う他、評価調査者の質の維持向上のため人材育成に力を注ぐ。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
2017年度社会福祉士実習指導者講習会の開催	日 時：2017年11月29日(水)9:45～18:00 30日(木)9:00～17:15 場 所：クローバープラザ 受講者：120名
実習指導者フォローアップ研修会の開催	日 時：2017年5月28日(日)13:30～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：実習プログラミングについて 講 師：多田 祐二氏(古賀市社会福祉協議会) 受講者：25名  日 時：2017年12月17日(日)10:00～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：実習スーパービジョンについて 講 師：長野 圭介氏(福岡県社会福祉士会 会員) 受講者：22名
実習指導に関する調査、研究	実習プログラミングにおいて、養成校(2018年度は大学のみ)へ「学生への実習プログラムについてのニーズ調査」を行い、フォローアップ研修(プログラミング論)にて報告した。
実習指導に関する団体との協力・連携	養成校より委員のとして委員会活動へ参加をしていただき、養成校側の視点を取り入れた内容を研修へ取り入れた。
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> 実習指導者講習会について、会場の調整が上手くいかず、平日開催となった。その中でも、120名の参加があり、アンケートの結果からも受講者から多くの好評を得た。2018年度は、昨年度同様で金・土の日程で実施する予定である。参加者については、100名程度を予定。 フォローアップ研修については、実習プログラミングと実習スーパービジョンの2種類の研修会を実施した。 実習指導に関する調査・研究については、養成校へ「学生への実習プログラムについてのニーズ調査」を実施した。養成校において、実習を開始する学年が大学と専門学校等では、違いがある為、アンケート調査の対象の拡大を図り、フォローアップ研修にて報告していきたい。	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>地域包括支援センター社会福祉士実務研修（認定社会福祉士認証研修）の実施 認定社会福祉士の取得に必要な1単位として構成</p> <p>地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修（認定社会福祉士認証研修）の実施 認定社会福祉士の取得に必要な1単位として構成</p>	<p>地域包括支援センター社会福祉士実務研修① 地域包括ケア推進基礎研修 日 時：2017年5月13日（土）10:00～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：地域包括ケアとは 地域包括支援センターの基本的な業務 受講者：22名</p> <p>地域包括支援センター社会福祉士実務研修② 総合相談・権利擁護 研修 日 時：2017年7月30日（日）9:50～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：初回相談から支援計画作成までの各段階を体感し、専門職としての役割やプロセスを共有する 受講者：34名</p> <p>地域包括支援センター社会福祉士実務研修③ 地域ケア会議実践研修 日 時：2017年11月18日（土）10:00～16:45 場 所：クローバープラザ 内 容：地域包括支援ネットワーク構築と地域ケア会議の実際 受講者：25名</p> <p>地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修 日 時：2017年9月16日（土）9:45～16:15 2017年9月18日（月・祝）9:00～16:40 2018年2月24日（土）9:45～16:40 場 所：クローバープラザ 内 容：ネットワーク構築・活用のスキルを習得 受講者：14名</p>
地域包括支援センター主催研修会の企画・運営	<p>2017年度 地域包括支援センター主催研修会 日 時：2018年3月10日（土）13:30～16:45 場 所：クローバープラザ 内 容：「地域共生社会におけるソーシャルワークと社会福祉士の役割」 受講者：45名</p>
地域包括支援センター社会福祉士メンター制度	3名の応募があり、全員を支援対象者とした。
他委員会との連携	本委員会より14名が高齢者・障害者虐待対応チームに登録し、契約市町村への派遣（講義を含む）や運営管理委員会に参加している。

**総括 (2018年度に向けた課題等)**

- (1) 実務研修は地域包括支援センターの基本的な内容から総合相談・地域ケア会議と、地域包括支援センターに従事又は連携する者が必要とする知識、スキルを教授する内容を提供している。地域包括支援センターの内部研修が行われてきている実際に即して、本研修は2018年度までの開催とする。
- (2) ネットワーク実践力養成研修は、一定以上のスキルを持つ者を受講対象者としている為、毎年の開催では受講対象者が限定されることから隔年開催を検討し、2018年度は開催しない。委員と協議のうえで、中堅研修の企画開催を実施する。
- (3) 新たな認証研修の企画立案2018年度に行い、2019年度の開催を目指す。
- (4) メンター制度は包括センターに従事する、経験の浅く相談相手がいない社会福祉士に対して、委員が相談相手となり実施している。この制度を通じて、双方が社会福祉士として成長できる事業であり、今後も継続していきたい。

委員会名・事業チーム名：(社会福祉実践研究支援委員会)

担当理事名：菊澤 眞一郎

2017年度事業計画	2017年度事業報告
研究誌の発行 (1) 福岡県社会福祉士研究誌第10号の発行 2017年4月 : 募集開始 9月～11月 : 査読・編集 12月 : 印刷工程 2018年2月 : 発行	2017年度は論文投稿が3件と少なく、研究誌発行までには至らなかった。2018年度の投稿論文と合わせて作成する予定。

**総括 (2018年度に向けた課題等)**

論文の応募件数は少ない。今後も会員の実践経験を記録に残す機会として活用するため、機関紙等を利用して、投稿を促す。2018年度は社会福祉実践研究に関する研修会を企画・開催する予定。

2017年度事業計画	2017年度事業報告
「ふくおか社会福祉士通信」の監修	<p>毎月月初 年 10 回発行 (6・7 月および 2・3 月は合併号) 発行に際し委員 2 名で内容のチェックを行ったことと、理事会の中で研修等問い合わせ先の書式の統一などを図ったことで紙面の統一化が図られた。</p> <p>専門職へのインタビューの実施 (年 2 回) 1 月号、2・3 月合併号に掲載 福祉にやさしいお店の取材 12 月、2 月に取材実施</p>
県民対象の講演会開催	<p>県民向け講演会の開催 (年 1 回) 日 時：2017 年 12 月 3 日 (日) 14:00～16:00 場 所：クローバープラザ 506AB 内 容：子どもの隠れた SOS と関わり方について 受講者：35 名</p>
出前講座	<p>出前講座への本会会員派遣</p> <p>【第 1 回】 日 時：2017 年 5 月 20 日 (土) 13:00～14:00 依頼元：油山病院家族の会 内 容：親亡き後の暮らしについて 派遣委員会：障がい者支援委員会</p> <p>【第 2 回】 日 時：2018 年 1 月 18 日 (木) 10:00～11:00 依頼元：大野城市手をつなぐ育成会学童部 内 容：発達障がいについて 派遣委員会：児童・家庭委員会</p>
<p><b>総括 (2018 年度に向けた課題等)</b></p> <p>(1) 委員会運営については、2017 年度末をもって任期満了となる委員と、委員となってまだ 1～2 年と経験の浅い委員、3～4 年の中堅の委員とバランスが良く構成され、経験の長い委員が経験の浅い委員にアドバイスを行うなどうまく引き継ぎも行いながらの委員会運営ができていたと考える。</p> <p>(2) 県民向け講演会については、早期から準備に取り掛かり、フライヤーの作成、講師の調整などスムーズに行えた。一方で、受講申込者数が伸びず各委員会等へ周知を行なった結果、受講者は 35 名と何とか形となったものの、今後の募集のあり方等検討を要する。</p> <p>(3) 出前講座については、3 件の依頼を受け 2 件実施した。講師選定に時間がかかったことと、依頼元からの要望とパッケージ内容とが合致していないことなどから 1 件のキャンセルがあった。また、担当する委員会から依頼元への連絡が遅れることがあったので今後もさらに依頼受付から派遣までのスキームの徹底を図っていくことが課題と考える。</p> <p>2018 年度においては、「県民向け講演会」をさらに拡大した「県民向け福祉セミナー」を開催する計画を立てていることから、さらに参加者確保に力を入れていく必要がある。</p> <p>また、広報活動として紙媒体である「ふくおか社会福祉士通信」の発行を中心として行ってきたが、2018 年度以降はホームページの見直し、改善を行っていき、会員・県民の皆様がアクセスしやすいデジタル媒体の監修にも注力していく。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
施設見学研修の開催（年間2回）	施設見学研修（第1回） 日 時：2017年11月22日（水）14：00～16：00 場 所：柳川療育センター 内 容：重症心身障害児・者施設の見学とそこで働くソーシャルワーカーの職務内容について 受講者：9名 施設見学ツアー 訪問先調整つかず2017年度は未実施
研修会の開催	座学研修会 2017年12月9日に開催予定するも応募者2名であったため開催中止
レクリエーションの開催	新年会 日 時：2018年1月20日（土）19：00～21：00 場 所：隠れ家個室ダイニング 湊 -MINATO-水産 福岡博多駅店 参加者：6名 日本社会福祉士会全国大会懇親会：第25回福島大会 日 時：2017年6月2日（金）19：00～ 場 所：居酒屋安兵衛 参加者：5名
入会啓発活動	出張説明会 実施に向けた検討を深めていったため未実施
<p><b>総括（2018年度に向けた課題等）</b></p> <p>(1) 委員会運営については、第1回の委員会開催が7月と動き出しが遅かった。しかし、その中でこれまでの企画を引き継ぎつつも新しい意見や発想が出てきて、闊達な意見交換ができていた。</p> <p>(2) 研修会等の開催については、委員会の動き出しが遅かったため、タイトなスケジュールとなり、参加者の確保が思わしくなく開催できない企画もあった。しかし、開催した研修等については、受講者からの反応も良かった。</p> <p>(3) 入会啓発活動については、年度当初は社会福祉士養成校等への出張説明会を計画していたが、具体的な内容や方法が詰まっていなかったため、実施には至らなかった。</p> <p>本委員会は長く続いてきた委員会であり、その流れの中で年齢によって制限等を設けていた経緯もある。また、ユース委員会という名前からも年齢による若手というイメージが払拭できないことも否めない。しかし、社会福祉士の取得ルートから学卒の年齢的な若手ばかりでなく社会人ルートで取得したキャリア的な若手も存在することも鑑みると、ユース＝若手の「若手」の捉え方を考えていかなければという意見も委員会内でも出てきている。そうした若手が本会に入会しての入り口として有益なものとなるような事業を企画していきたいと考えている。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>日本社会福祉士会と連携しながら生涯研修制度と認定社会福祉士制度の広報啓発に努める。また、会員個人への生涯研修制度に関する相談対応の体制を確保する</p>	<p>2017年度認定社会福祉士オリエンテーション  日 時：2018年3月24日(土) 13:30～15:00  場 所：クローバープラザ  受講者：45名</p> <p>毎月発行の通信に生涯研修センター情報を掲載  本会ホームページに生涯研修制度認定社会福祉士に関する情報を更新</p>
<p>基礎課程・専門課程研修事業の進捗管理及び達成状況の把握と評価を実施し、各委員会へフィードバックする。</p>	<p>生涯研修センター協議会の開催  第1回生涯研修センター協議会  日 時：2017年6月28日(水) 19:00～20:40  議 題  ・各委員会の認証研修実施状況等報告について  ・2016年度及び2017年度の研修計画について  ・熊本地震における熊本県士会会員の研修受け入れについて  ・主任介護支援専門員更新研修に係る本会の対応について  ・全国生涯研修委員会会議の討議内容について</p> <p>第2回生涯研修センター協議会  日 時：2018年2月16日(金) 19:00～21:45  議 題  ・2018年度の研修計画について  ・研修受講料の設定について  ・SV事業について  ・研修時における個人情報の取り扱いについて</p>
<p>認定社会福祉士制度の研修認証申請を行い、会員の認定社会福祉士認証研修受講の機会を確保する</p>	<p>2017年度実施認証研修</p> <p>①2014年 2月 2日認証  地域包括ケア推進基礎研修／地域包括支援センター総合相談・権利擁護研修／地域包括ケア会議実践研修  (分野専門／高齢分野／ソーシャルワーク機能別科目群) 1単位  2017年 5月13日(土) 10:00～16:30  7月30日(土) 10:00～17:00  11月19日(土) 10:00～17:00</p> <p>②2014年 2月 2日認証  児童家庭福祉論  (分野専門／児童・家庭分野／理論・アプローチ別科目群) 1単位  2017年 11月 3日(金) 9:00～17:20  11月 4日(土) 9:00～18:30</p> <p>③2014年 7月27日認証  在宅障害者支援(身体・知的・精神)  (分野専門／障害分野／対象者別科目群) 1単位  2017年 9月 2日(土) 9:30～18:00  9月 3日(日) 9:30～18:00</p>

	<p>④2015年 3月22日認証          老年心理学～臨床現場の振り返りを踏まえて～          (分野専門/高齢分野/理論・アプローチ別科目群)          2018年 1月14日(日) 10:00～16:00          1月27日(土) 10:00～16:00          4月22日(日) 10:00～16:00</p> <p>⑤2015年 3月22日認証          医療ソーシャルワーク論(脳血管疾患患者支援編)          (分野専門/医療分野/対象者別科目群) 1単位          2017年12月17日(日) 10:00～16:00          2018年 1月 7日(日) 10:00～16:00          2月25日(日) 10:00～16:00</p> <p>⑥地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修          (分野専門/高齢分野/ソーシャルワーク機能別          科目群) 1単位          2017年 9月16日(土) 9:45～16:15          9月18日(月) 9:00～16:50          2018年 2月24日(土) 9:45～17:00</p> <p>⑦2017年 8月 5日認証          医療ソーシャルワーク論(病院生活支援)          (分野専門/医療分野/ソーシャルワーク機能別科          目群) 1単位          2018年 2月10日(土) 9:30～16:40          2月11日(日) 9:30～16:40</p> <p>⑧2017年 9月24日認証          リーガル・ソーシャルワーク研修          (分野専門/地域社会・多文化分野/ソーシャルワ          ーク機能別科目群) 1単位          2018年 3月 3日(土) 9:30～17:50          3月 4日(日) 9:30～16:00</p> <p>⑨2017年4月1日委託          成年後見人材育成研修          (分野専門/高齢分野/ソーシャルワーク機能別          科目群) 2単位          2017年11月19日(日) 9:00～17:00          2018年 1月13日(土) 9:00～17:00          1月13日(日) 9:00～17:00          1月21日(日) 9:00～17:00</p>
--	---

**総括 (2018年度に向けた課題等)**

- (1) 今年度は認証研修の3年1クールの最終年度であり、ほとんどの認証研修で完成年度となった。2017年度はこれまで行ってきた認証研修内容を継続や見直し等精査し、新たな認証研修申請を計画的に行っていく。
- (2) SV事業については3年目となり、合計31名のバイジールの調整を行った。内訳は基礎研修Ⅲ修了者27名等に案内し、22名の申込があり契約した。また2年目SVとして6名のバイジールが、3年目SVとして3名のバイジールが契約を行った。2018年度は21名の基礎研修Ⅲ修了者が出る見込みであることから、2017年度バイジール候補者5名をSV養成研修に派遣し増員を図った。



(3) 会員個人への生涯研修制度の相談会を「認定社会福祉士オリエンテーション」として実施した。非会員の参加も多く、この周知啓発によって会への入会や新生涯研修制度の基礎研修への参加が見込まれる。

(4) 研修を企画運営する、高齢者、障害者、医療、児童家庭、地域社会・多文化、ばあとなあ各委員会とも情報交換、共有を行い認証研修申請における手順を確認し、各委員会で企画した認証研修を本協議会で精査し、認証申請するという形を作った。これにより計画的かつ組織的に認証申請を行っていくことが期待できる。

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>基礎研修Ⅰの開催</p> <p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職が職能団体を持つ意義を知る</li> <li>・日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織と役割を知る</li> <li>・生涯研修制度を知る</li> <li>・社会福祉士共通基盤を知る</li> <li>・実践現場における社会福祉士の専門性を踏まえた役割を知る</li> <li>・実践を踏まえて社会福祉士が倫理綱領や行動規範を持つ意味を知る</li> </ul>	<p><b>【集合研修Ⅰ】</b></p> <p>事前課題「社会福祉士の役割を考える」</p> <p>日 時：2017年8月27日(日) 9:30～17:00</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>受講者：68名</p> <p><b>【中間課題研修】</b></p> <p>中間課題「所属先の社会福祉士の実践を知る」「所属先以外の社会福祉士の実践を知る」「倫理綱領・行動規範の理解」「社会福祉士共通基盤の理解」</p> <p>日 時：2017年10月29日(日) 9:30～17:00</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>受講者：54名</p> <p><b>【集合研修Ⅱ】</b></p> <p>日 時：2018年2月4日(日) 9:30～17:00</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>受講者：62名</p> <p><b>【基礎研修Ⅰ受講者 71名 修了者 62名】</b></p>
<p>基礎研修Ⅱの開催</p> <p><b>【目的】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉士の倫理綱領や行動規範を踏まえた実践の理解ができる</li> <li>・社会福祉士共通基盤について理解を深め、実践との関係を知る</li> <li>・社会福祉援助の展開過程を知り、それを踏まえた実践ができる</li> <li>・実践力を高めるための基礎的な援助技術を身につける</li> <li>・スーパービジョンについて学ぶ</li> </ul>	<p><b>【第1回集合研修】</b></p> <p>日 時：2017年4月16日(日) 9:30～17:00</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>内 容：ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ (相談援助の視座と展開過程・実践のためのアプローチ)</p> <p><b>【第2回集合研修】</b></p> <p>日 時：2017年4月23日(日) 9:30～13:00</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>内 容：ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ (自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク)</p> <p>事前課題(実践事例演習)</p> <p><b>【第3回集合研修】</b></p> <p>日 時：2017年5月14日(日) 9:30～17:00</p> <p>場 所：いきいき情報センター</p> <p>内 容：ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ (実践事例演習)</p> <p>事後課題(実践事例演習)</p> <p>事前課題(スーパービジョン)</p> <p><b>【第4回集合研修】</b></p> <p>日 時：2017年6月11日(日) 9:30～17:00</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>内 容：人材育成系科目 (スーパービジョンとは・スーパービジョンモデルセッションを見る・スーパーバイザー体験)</p> <p>事前課題(社会資源の理解と社会資源の開発)</p>

**【第5回集合研修】**

日 時：2017年7月9日（日）9:30～17:00

場 所：クローバープラザ

内 容：地域開発政策系科目Ⅰ

（社会資源の理解と社会資源開発・連携システムの在り方とネットワーク構築）

事前課題（地域における福祉政策と福祉計画・社会福祉調査の方法と実際）

**【第6回集合研修】**

日 時：2017年8月20日（日）9:30～17:00

場 所：クローバープラザ

内 容：地域開発政策系科目Ⅰ

（地域における福祉政策と福祉計画・社会調査の方法と実際）

事後課題（社会福祉調査の方法と実際）

**【第7回集合研修】**

日 時：2017年9月10日（日）9:30～17:00

場 所：クローバープラザ

内 容：権利擁護法学系科目Ⅰ

（社会福祉における法・ソーシャルワークと権利擁護の視点）

**【第8回集合研修】**

日 時：2017年9月24日（日）9:30～17:00

場 所：クローバープラザ

内 容：権利擁護法学系科目Ⅰ

（社会福祉における法・ソーシャルワークと権利擁護の視点）

事前課題（実践評価実践研究系科目）

**【第9回集合研修】**

日 時：2017年10月29日（日）9:30～17:00

場 所：クローバープラザ

内 容：実践評価実践研究系科目Ⅰ

（実践研究の意義と方法・実践研究のための記録）

**【第10回集合研修】**

日 時：2017年11月19日（日）9:30～13:00

場 所：クローバープラザ

内 容：実践評価実践研究系科目Ⅰ

（実践評価の方法）

事前課題（実践評価実践研究系科目）

**【第11回集合研修】**

日 時：2017年12月10日（日）9:30～17:00

場 所：クローバープラザ

内 容：実践評価実践研究系科目

（実践研究発表の方法）

事後課題（実践研究発表の方法）

**【基礎研修Ⅱ受講者 63名 修了者 47名】**

## 基礎研修Ⅲの開催

### 【目的】

- ・社会福祉士としての権利擁護実践の基礎を理解する
- ・ソーシャルワークの理論をふまえた援助システムを理解する
- ・地域福祉システムと実践の関係を理解する
- ・事例研究の基礎を理解する
- ・スーパービジョンを体験する

### 【第1回集合研修】

日時：2017年5月14日（日）9:30～17:00

場所：クローバープラザ

内容：実践評価・実践研修系科目  
（対人援助と事例研究、事例研究の基本枠組、事例研究の方法としてのケースカンファレンス）

事前課題「ソーシャルワーク理論系科目」

中間課題「実践評価・実践研修系科目」

### 【第2回集合研修】

日時：2017年6月11日（日）9:30～16:00

場所：クローバープラザ

内容：実践評価・実践研修系科目  
（事例研究のための事例研究のまとめ方）  
ソーシャルワーク理論系科目  
（実践事例演習Ⅱ）

事前課題（権利擁護・法学系科目）

### 【第3回集合研修】

日時：2017年7月9日（日）9:30～15:20

場所：クローバープラザ

内容：実践評価・実践研修系科目  
（模擬事例検討会）

科目修了レポート（実践評価・理論系科目）

事前課題（地域開発・政策系科目）

### 【第4回集合研修】

日時：2017年8月20日（日）9:30～17:00

場所：クローバープラザ

内容：権利擁護・法学系科目（意思決定の支援）

科目修了レポート（権利擁護・法学系科目）

### 【第5回集合研修】

日時：2017年9月10日（日）9:30～16:00

場所：クローバープラザ

内容：地域開発政策系科目  
（地域における福祉活動の実際）

事前課題（サービス管理・経営系科目）

### 【第6回集合研修】

日時：2017年9月24日（日）9:30～17:00

場所：クローバープラザ

内容：サービス管理・経営系科目  
（社会福祉の組織と組織マネジメントの意義、  
情報共有・継続の仕組み、サービス評価）

### 【第7回集合研修】

日時：2017年10月29日（日）9:30～13:00

場所：いきいき情報センター

内容：サービス管理・経営系科目（リスクマネジメント、苦情解決システム）

中間課題（地域開発・政策系科目）

	<p><b>【第8回集合研修】</b>  日 時：2017年11月19日（日）9:30～16:00  場 所：クローバープラザ  内 容：サービス管理・経営系科目（事例検討）  科目修了レポート（サービス管理・経営系科目）</p> <p><b>【第9回集合研修】</b>  日 時：2017年12月10日（日）9:30～17:00  場 所：クローバープラザ  内 容：地域開発・政策系科目（地域における福祉活動の実際2）  科目修了レポート（地域開発・政策系科目）</p> <p><b>【第10回集合研修】</b>  日 時：2018年1月14日（日）9:30～13:30  場 所：クローバープラザ  内 容：人材育成系科目（SVのモデルセッション）  事前課題（人材育成系科目）</p> <p><b>【第11回集合研修】</b>  日 時：2018年2月11日（日）9:30～16:30  場 所：クローバープラザ  内 容：人材育成系科目（新人教育プログラム）  科目修了レポート（人材育成系科目）</p> <p><b>【基礎研修Ⅲ受講者 23名 修了者 19名】</b></p>
<p>全国生涯研修委員会議出席</p>	<p>日 時：2017年9月23日（土）～24日（日）  場 所：全理連ビル9階 会議室  内 容：各都道府県社会福祉士会の基礎研修実施状況  eラーニングについて  参加者：多田 祐二</p>
<p>基礎研修における学生ボランティア活用事業</p>	<p>継続実施  11日間の研修参加と実施後のヒアリング実施  ・福岡教育大学 2名（4年生）</p>
<p><b>総括 （2018年度に向けた課題等）</b>  2017年度も、基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲすべての研修を実施することができた。</p> <p>（1）基礎研修Ⅰについて、新入会会員や未受講者向けの広報啓発に力を入れ、71名の受講申込があり、62名が修了することが出来た。この受講者が基礎研修Ⅱ・Ⅲへとステップアップしていくことから、2018年度も引き続き広報活動に力を入れて入会促進も含め、受講者の確保に努めていく。</p> <p>（2）基礎研修Ⅱについて、63名の受講申込みに対して47名が修了した。近年2年計画で研修を修了しようとする受講生も増えてきて、ニーズに合わせた研修運営ができていく。学生ボランティア2名も全日程で研修に参加し、国家試験合格に繋がった。引き続き内容の充実を図っていく。</p> <p>（3）基礎研修Ⅲについて、23名の受講申込みに対して19名が修了した。一昨年度の基礎研修Ⅱ修了者が少なかったため、必然的にⅢの受講者自体が少なかった。研修運営としては大変厳しいものであったが、反面受講生同士のネットワークは密に広がり、認定社会福祉士取得を目指すという次のステップへの動機づけとなった。2018年度は受講生の増加が見込まれるため、内容充実を図り受講生の満足度を上げていくように努める。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
認定社会福祉士認証研修の開催	<p>認定社会福祉士認証研修            日 程：2017年11月3日(金) 9:00～17:20                      4日(土) 9:00～18:30            テーマ：認定社会福祉士認証研修                      児童家庭福祉論(理論アプローチ科目群)1単位            場 所：博多事務所            講 師：田中、豊増、松澤、益満、伊東、大西(6名)            受講者：20名</p>
(1) 独自企画研修(第1回)	<p>(1) 独自企画研修(第1回)            日 程：2017年8月26日(土) 9:30～12:00            テーマ：子どもの心と福祉(貧困の中で生きる子どもたち                      とのかかわりを中心に)            場 所：博多事務所            講 師：大西 良(筑紫女学園大学准教授)            受講者：20名</p>
(2) 独自企画研修(第2回)	<p>(2) 独自企画研修(第2回)            日 程：2017年12月16日(土) 13:30～16:30            テーマ：学校でのソーシャルワークと今の子どもたち(今                      の子どもたちの行きにくさと大人にできること                      について)            場 所：博多事務所            講 師：松澤 秀樹(社会福祉士事務所まほろば代表)            受講者：20名</p>
「つながろう!チャイルド・サポート・ネットワーク(C.S.N)」ワールドカフェの開催	<p>ワールドカフェの開催            日 程：2018年3月10日(土) 15:00～17:00            テーマ：厳しい家庭環境の子ども達の支援に向けて            場 所：博多事務所            講 師：新島 幸祐、豊田 了一、大西 良                      田中 伸助(4名)            参加者：13名</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>(1) 独自企画研修の見直しを行い、C.S.N活動に転換し、「子ども食堂」や「子どもの村」見学、オレンジリボン運動に参画していくこと。</p> <p>(2) 認定社会福祉士制度認証研修の新規申請「虐待への対応」を行うこと。</p> <p>(3) C.S.N活動メンバー参加者を増やすこと。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
認定社会福祉士認証研修 <b>【対象者別科目】</b> 障がい分野：在宅障がい者支援 (身体障がい・知的障がい・精神障がい)	日 時：2017年9月2日(土) 9:30～18:00 3日(日) 9:30～18:00 場 所：博多事務所 内 容：①身体障がいの分類・原因疾患・疾病について 在宅支援における留意点 制度、サービスの利用について(演習) ②精神障がいの分類・原因疾患・疾病について 在宅支援における留意点 制度、サービスの利用について(演習) ③知的障がいの分類・原因疾患・疾病について 在宅支援における留意点 制度、サービスの利用について(演習) 受講者：18名
障がい者支援委員会企画研修	障がい者支援委員会研修 日 時：2017年10月9日(月) 13:30～16:00 場 所：クローバープラザ 内 容：文化の違いを超えたソーシャルワークの 在り方について 受講者：58名
その他	県民向け出前講座講師派遣 県民向け出前講座依頼件数1件
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> (1) 認定社会福祉士認証研修は4年目の実施となり、参加者は県外からの参加者が増加傾向にある。認証研修については、職能団体として専門性の担保のために継続し認定社会福祉士資格の取得支援として実施していく。 委員会企画の研修として、文化の違いを超えたソーシャルワークの在り方をテーマとし実施した。本研修においては、本会への入会を促進するため、会員、非会員、一般等、幅広く広報を行った。 (2) 2018年度においては障がい福祉分野で従事している社会福祉士のスキル向上を目的とした研修を企画し、実施する。障がい分野における認定社会福祉士認証研修の企画、運営等を継続していく。 2018年度は、障害支援区分認定審査会委員の推薦があるため、委員としての推薦を希望する会員に向けた説明会を高年齢者委員会と協力し合同で開催する。	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>高齢分野専門研修会の開催 理論・アプローチ別科目 (老年心理学～臨床現場の振り返りを踏まえて～)</p> <p>3日間(1日5時間)計15時間 認定社会福祉士の取得に必要な1単位として構成(認証研修)</p>	<p>理論・アプローチ別科目(老年心理学)の開催 日 時：(第1回)2018年1月14日(日) 10:00～16:00 (第2回)2018年1月27日(土) 10:00～16:00 (第3回)2018年4月22日(日) 10:00～16:00</p> <p>場 所：博多事務所 講 師：九州看護福祉大学 社会福祉学科 准教授 永田 俊明 氏</p> <p>内 容：高齢期における各領域のエイジングの特徴、心理学、心理的問題、認知症への理解と支援および高齢者に対する心理アセスメントについて</p> <p>受講者：11名</p>
<p>介護認定審査会委員推薦手続き</p>	<p>各自治体から、欠員が出た際に滞りなく、委員派遣を実施(委員派遣は、実質的基準・形質的基準に基づく)</p>
<p>新規認証研修の申請</p>	<p>対象者別科目(高齢期におけるエンドオブライフ・ケア)を認証機構へ申請(2018年4月申請)</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>(1) 2018年度は、新規認証研修(高齢期におけるエンドオブライフ・ケア)の認証結果に伴い、開催を行う。更新認証研修(老年心理学)については、今年度の開催保留とし、来年度以降に適宜開催を行う。</p> <p>(2) 独自研修として、高齢者アセスメントの研修会を開催し、高齢者の力を引き出すような自立支援のあり方(ストレングスとエンパワーメントの視点)を実施。</p> <p>(3) 介護認定審査会委員推薦候補者説明会の開催、介護認定審査会委員推薦基準及び推薦手続についての見直しを図り、各自治体からの審査会委員派遣(2019年度から2020年度)選考、今年度の欠員の追加選考を実施。</p>	



2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>医療分野専門研修会の開催 対象者別科目 (脳血管疾患患者支援編)</p> <p>3日間(1日5時間)計15時間 認定社会福祉士の取得に必要な 1単位として構成(認証研修)</p>	<p>対象者別科目(脳血管疾患患者支援編)の開催 日時:(第1回)2017年12月17日(日) 10:00~16:00 (第2回)2018年1月7日(日) 10:00~16:00 (第3回)2018年2月25日(日) 10:00~16:00</p> <p>場 所:博多事務所 講 師:広島文化学園大学 看護学部 看護学科 教授 大塚 文 氏 内 容:脳血管疾患患者支援を理解するための理論 と方法、事例研究等について 受講者:13名 修了者:11名</p>
<p>医療分野専門研修会の開催 対象者別科目 (病院生活支援)</p> <p>2日間(1日6時間)計12時間 認定社会福祉士の取得に必要な 1単位として構成(認証研修)</p>	<p>ソーシャルワーク機能別科目群(病院生活支援)の開催 日時:(第1回)2018年2月10日(土) 9:30~16:40 (第2回)2018年2月11日(日) 9:30~16:40</p> <p>場 所:クローバープラザ 講 師:飯塚病院 医療ソーシャルワーカー 浦川 雅広 氏(急性期) 小倉リハビリテーション病院 医療ソーシャルワーカー 牛島 寛文 氏(回復期) 広瀬病院 医療ソーシャルワーカー 梶平 幸子 氏(慢性期) 今立内科クリニック ソーシャルワーカー 内田 浩稔 氏(在宅医療) 内 容:入院患者の相談や課題に対応するために各 病床機能の理解、入退院の支援、多職種連携 等について 受講者:24名 修了者:19名</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>(1) 2018年度は、理論編(6年目)・病院生活支援(2年目)の開催予定となる為、更新認証研修(地域生活支援・脳血管疾患患者支援編)については、今年度の開催保留とし、来年度以降に適宜開催を行う。</p> <p>(2) 独自研修として、医療ソーシャルワーカー向けの研修会を開催し、入退院支援につながるような内容を検討中。</p> <p>(3) 他団体(医療ソーシャルワーカー協会)との連携強化を図り、ネットワークの構築等につなげていく。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>研修会の開催(2回)</p>	<p>地域社会・多文化委員会研修(第1回)                      リーガル・ソーシャルワーク研修(認証研修)                      日時：2018年3月3日(土)                      4日(日)※(2日間研修)                      場所：クローバープラザ                      内容：刑事司法における福祉支援の基礎的理解                      支援の実際 等                      受講者：41名</p>
<p>その他</p>	<p>福岡市精神保健福祉センター主催の「自殺予防のためのこころと法律の相談会」において、相談員を委員会より推薦                      第1回相談会 2017年9月29日(金)2名派遣                      第2回相談会 2018年3月7日(水)1名派遣</p> <p>福岡地方検察庁との本会との連携                      福岡地方検察庁と協定を締結し、被疑者・被告人段階における刑事司法の入口支援を開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会員内より社会福祉アドバイザーの公募・登録</li> <li>・登録者学習会を開催(2回実施)</li> <li>・検察庁と社会福祉士会との事例検討会の開催</li> </ul> <p>実績：121件の派遣依頼(4月25日～3月31日)                      登録：11名(内7名実働)※3月末日時点</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>(1) 2017年度の事業計画においては、定例会の実施について体制が不十分であり、定例会の実施自体も不定期となり、体制整備が急務となる。2018年度は体制が刷新された為、役割分担等を明確にしながら整えていきたい。</p> <p>(2) 2017年度内に「リーガル・ソーシャルワーク」の認証研修の申請ができ、3月に研修の企画・実施運営ができた。継続的实施、広報活動を充実させていきたい。</p> <p>(3) 地域社会・多文化委員会の研修としては、主に認証研修の実施について内容の充実を図っていく事が求められている。</p> <p>(4) 福岡地方検察庁との入口支援については、双方の共通理解を深め、更なる体制の構築、関係機関の周知理解の促進を図っていく必要がある。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
会員向け研修の実施	災害支援研修会 日 時：2018年3月3日(土) 13:00～16:50 場 所：クローバープラザ 内 容：災害時におけるソーシャルワーク 受講者：14名
災害支援の実施	九州北部豪雨災害への会員派遣を実施 派遣期間：2018年7月11日(火)～17日(月) 派遣場所：東峰村災害ボランティアセンター 派遣人数：延べ32名  日本社会福祉士会との意見交換、現地視察 日 時：2017年8月11日(金) 12:00～17:00 場 所：博多事務所 社会福祉法人平成会花月園(大分県日田市) 参加者：西島会長(日本)、小笹事務局長(日本) 船田会長(大分)他4名、青柳、多田
福岡県との災害支援協定の締結	福岡県災害時福祉等専門人材派遣協定締結 日 時：2017年4月6日(木) 10:30 場 所：福岡県庁 参加者：青柳  九州北部豪雨災害現地視察 日 時：2017年7月8日(土) 13:00～17:00 場 所：朝倉市役所、ピーポート甘木(避難所)他 参加者：青柳、多田  福岡県災害時福祉等専門人材派遣団体連絡会議 【第1回】 日 時：2017年8月1日(火) 14:00～15:00 場 所：福岡県庁 吉塚合同庁舎 内 容：九州北部豪雨被災者支援について 参加者：青柳、多田 【第2回】 日 時：2018年2月8日(木) 10:00～12:00 場 所：福岡県庁 吉塚合同庁舎 内 容：要配慮者への効果的な支援について 専門職支援内容のリスト作成について 派遣登録者リストの作成について 参加者：青柳、多田
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> 2017年度より地域社会・多文化委員会災害支援部会より災害支援委員会に再編し、間もなく九州北部豪雨災害が発生した。自県災害ということで、被災地の状況を情報収集しながら、現地のニーズに基づき会員の派遣調整を行った。この経験を糧として、社会福祉士による災害支援マニュアル等を整備し、適切に対処できるような体制を今後構築していく。また2018年度は九州沖縄ブロックの災害支援幹事県となるため、ブロック内連携もスムーズに行われるよう努めていく。	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
<p>養護者による高齢者虐待防止研修の開催</p> <p>養介護施設従事者等による虐待へ対応するための行政対象の研修</p>	<p>養護者による高齢者虐待対応初任者研修 (県委託)</p> <p>日 時：2017年6月8日(木) 9:00～16:40 6月15日(木) 9:00～16:40</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>内 容：養護者による高齢者虐待の基礎知識と虐待対応の流れについて</p> <p>受講者：118名</p> <p>福岡県市町村職員等虐待対応力向上研修 (県委託)</p> <p>日 時：2017年7月18日(火) 9:30～16:45</p> <p>場 所：吉塚合同庁舎</p> <p>内 容：養介護施設従事者等による虐待に対応する上で通報・相談・届出から改善指導までの基礎知識</p> <p>受講者：81名</p> <p>福岡県高齢者虐待防止市町村職員等現任者研修 (県委託)</p> <p>日 時：2017年10月26日(木) 10:00～16:50 11月9日(木) 10:00～16:30</p> <p>場 所：クローバープラザ</p> <p>内 容：養護者による高齢者虐待対応の応用編</p> <p>受講者：10月26日 111名(科目1のみの参加可) 11月9日 76名</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>3つの研修すべて福岡県より受託した。施設職員等に対するの権利擁護・虐待防止研修の開催を望む声があるが、企画運営においてマンパワーの不足は否めない。主催研修としておこなうのか、行政主導での開催を推進するのかの検討が必要であるとともに、講師の育成も喫緊の課題である。</p> <p>(1) 本事業推進チームは、弁護士会との協働事業である福岡高齢者・障害者虐待対応チームも所管する。県下の状況、課題が俯瞰できるため、基本事項はもちろん、具体的な課題に対応できる研修を継続する。</p> <p>(2) 虐待防止という高齢者の権利擁護を担う行政・地域包括支援センターへ虐待防止法、権利擁護の視点、虐待対応ソーシャルワーク等を教示、助言ができる講師を育成する。</p>	



福岡県サービス管理責任者研修（第1回地域生活[知的・精神]分野）

日 時：2017年11月29日（水）9:30～17:30  
30日（木）9:30～17:30

場 所：北九州テクノセンター

内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について

受講者：45名

福岡県サービス管理責任者研修（第1回介護分野）

日 時：2017年12月6日（水）9:30～17:30  
7日（木）9:30～17:30

場 所：北九州テクノセンター

内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について

受講者：53名

福岡県サービス管理責任者研修（第1回就労分野）

日 時：2017年12月14日（木）9:30～17:30  
15日（金）9:30～17:30

場 所：北九州パレス

内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について

受講者：81名

福岡県サービス管理責任者研修（地域生活[身体]分野）

日 時：2017年12月20日（水）9:30～17:30  
21日（木）9:30～17:30

場 所：クローバープラザ

内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について

受講者：13名

福岡県サービス管理責任者研修（第2回地域生活[知的・精神]分野）

日 時：2018年1月17日（水）9:30～17:30  
18日（木）9:30～17:30

場 所：クローバープラザ

内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について

受講者：62名

福岡県サービス管理責任者研修（第2回就労分野）

日 時：2018年1月24日（水）9:30～17:30  
25日（木）9:30～17:30

場 所：クローバープラザ

内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について

受講者：91名

福岡県サービス管理責任者研修（第2回介護分野）

日 時：2018年1月31日（水）9:30～17:30  
2月1日（木）9:30～17:30

	<p>場 所：クローバープラザ  内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について  受講者：74名</p> <p>福岡県サービス管理責任者研修（第3回地域生活[知的・精神]分野）  日 時：2018年2月7日（水）9:30～17:30  8日（木）9:30～17:30  場 所：クローバープラザ  内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について  受講者：58名</p> <p>福岡県サービス管理責任者研修（第3回介護分野）  日 時：2018年2月14日（水）9:30～17:30  15日（木）9:30～17:30  場 所：クローバープラザ  内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について  受講者：74名</p>
<p>福岡県児童発達支援管理責任者研修の開催</p>	<p><b>【前期】</b>  福岡県児童発達支援管理責任者研修 第1回（2、3日目）  日 時：2017年7月8日（土）9:30～17:30  17日（日）9:30～17:30  ※台風接近の為、3日目日程変更  場 所：クローバープラザ  内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について  受講者：88名</p> <p>福岡県児童発達支援管理責任者研修 第2回（2、3日目）  日 時：2017年9月12日（火）9:30～17:30  13日（水）9:30～17:30  場 所：クローバープラザ  内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について  受講者：91名</p> <p><b>【後期】</b>  福岡県児童発達支援管理責任者研修 第1回（2、3日目）  日 時：2017年11月16日（木）9:30～17:30  17日（金）9:30～17:30  場 所：北九州パレス  内 容：「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について  受講者：96名</p> <p>福岡県児童発達支援管理責任者研修 第2回（2、3日目）  日 時：2018年2月20日（火）9:30～17:30  21日（水）9:30～17:30  場 所：クローバープラザ</p>

	内 容 : 「アセスメントとモニタリングの実際」、「サービス提供プロセスの管理の実際」について 受講者 : 101 名
--	--

**総括 (2018 年度に向けた課題等)**

(1) 受講者の増加と運営の安定

2017 年度より県からの要望もあり、受講希望者が年度内で 2 回研修を受ける機会が提供できるよう前期 (6 月～9 月開催)、後期 (11 月～2 月開催) に分け実施している。また、2017 年度委員会にてサービス管理責任者研修各分野、児童発達管理責任者研修のスタッフが一定の対応ができるよう、研修運営マニュアルを作成し活用したことで、天候不良や受講者への対応が一律にでき、運営の安定が図れた。

(2) 相談支援従事者初任者研修との連携

当研修の一部の受講が必須となる上記研修についても、2017 年度より案内と同時に行うことで受講もれを防ぎ、安定した受講者数の確保ができています。

(3) 電子システムの導入

1000 人を超える受講申込者の受付処理は、事務局員が手入力をおこなっていたが、2018 年度から、受講申込者がホームページから基本項目を直接入力できるシステム (事務局員は申込書を確認・必要事項を入力する) を導入することで、労力の軽減を図る。



2017年度事業計画	2017年度事業報告
福岡県相談支援初任者研修の開催	<p>平成 29 年度福岡県相談支援従事者初任者研修 (1 日目、2 日目)  日 時：2017 年 6 月 7 日 (水) 9:00～18:30  8 日 (木) 9:00～18:30  場 所：ももちパレス 大ホール  内 容：講義「障害者総合支援法等の概要」  「ケアマネジメント概論」  「相談支援の基本姿勢」他  受講者：506 名</p> <p>平成 29 年度福岡県相談支援従事者初任者研修  (3 日目、4 日目、5 日目)  【北九州会場】  日 時：2017 年 7 月 19 日 (水) 9:00～18:30  20 日 (木) 9:00～18:30  8 月 24 日 (木) 9:00～18:30  場 所：ウェルとばた 多目的ホール  内 容：講義「ケアマネジメントの実践」、「協議会の役割と活用」  演習 (I)、演習 (II)、その他  受講者：131 名</p> <p>平成 29 年度福岡県相談支援従事者初任者研修  (3 日目、4 日目、5 日目)  【福岡会場】  日 時：2017 年 7 月 25 日 (火) 9:00～18:30  26 日 (水) 9:00～18:30  8 月 28 日 (月) 9:00～18:30  場 所：九州ビル 大ホール  内 容：講義「ケアマネジメントの実践」、「協議会の役割と活用」  演習 (I)、演習 (II)、その他  受講者：109 名</p>
総括 (2018 年度に向けた課題等)	<p>(1) 福岡県障がい福祉課、他実施団体との連携  2018 年度も福岡県からの指定により実施。実施規模は 2018 年度と同じ規模で行う。開催時期は、2018 年度も昨年同様に本会が前期 (5 月～8 月) 開催、健康推進財団が後期 (10 月～1 月) となる。  2019 年度より研修制度が改正となり、研修の種類や回数が増える予定。今後も指定が受けられるよう体制を整えるとともに、県との連絡を密に行っていききたい。</p> <p>(2) サービス管理責任者研修・児童発達管理責任者研修との連携  当研修の一部の受講が必須となる上記研修についても、2017 年度より案内と同時に行うことで受講もれを防ぎ、安定した受講者数の確保ができています。</p> <p>(3) 電子システムの導入  1000 人を超える受講申込者の受付処理は、事務局員が手入力をおこなっていたが、2018 年度から、受講申込者がホームページから基本項目を直接入力できるシステム (事務局員は申込書を確認・必要事項を入力する) を導入することで、労力の軽減を図る。</p>

委員会名・事業チーム名：（障害者虐待防止・権利擁護研修事業推進チーム）担当理事名：稲吉 江美

2017年度事業計画	2017年度事業報告
福岡県障がい者虐待防止・権利擁護研修の開催	福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修 日 時：2017年 9月 29日（金）9:20～16:30 10月 3日（火）9:20～16:30 4日（水）9:20～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：障がい者に対する虐待の防止から虐待対応、 養護者支援、従事者による虐待の防止、権利擁護 について 受講者：行政・虐待防止センター職員等コース 41 名 障がい福祉サービス事業所管理者等コース 135 名
施設職員のための障がい者虐待防止研修の開催（新規）	施設職員のための障がい者虐待防止研修 日 時：2017年 12月 5日（火）9:30～16:30 （第1回） 12日（火）9:30～16:30 （第2回） 場 所：クローバープラザ 内 容：施設職員による虐待の防止、権利擁護につい て 受講者：障がい福祉サービス事業所等職員 233 名
<p><b>総括（2018年度に向けた課題等）</b></p> <p>（1）福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修について 行政コースの受講者数が、41名と県内市町村数に比べると受講者が少ないことが課題である。市町村において、迅速な虐待対応ができるよう行政コースの受講者を増やしていく必要がある。管理者等コースにおいては、2017年度から受講者を管理者等に限定することで、事業所内における虐待の防止及び権利擁護を推進する体制づくりをねらいに研修を実施することができた。</p> <p>（2）施設職員のための障がい者虐待防止研修について 福岡県から受託し実施している「福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」の障がい福祉サービス事業所コースにおいては、例年、定員を大幅に超える申し込みがあるため、「福岡県障がい者虐待防止・権利擁護指導者養成研修」は、管理者向け研修とし、2017年度新たに管理者以外の施設職員向けの「施設職員のための障がい者虐待防止研修」を本会主催で実施した。2018年度も実施したい。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
社会福祉士国家試験受験対策講座の開催	<p>次のとおり予定通り開催した。</p> <p>【開催日】 会場はクローバープラザ</p> <p>7月30日(日) 9:40～16:30</p> <p>8月6日(日) 10:30～16:30</p> <p>12日(土) 9:30～16:40</p> <p>20日(日) 9:30～16:30 ★</p> <p>27日(日) 9:30～16:40</p> <p>9月3日(日) 9:30～16:40</p> <p>10日(日) 9:30～16:30</p> <p>18日(祝) 9:30～16:40</p> <p>24日(日) 13:30～16:30 ★</p> <p>★8月20日に休講となった「社会保障」を9月24日に振替えて実施した。</p> <p>【受講者】 51名(一般27名+学生24名)</p>
社会福祉士全国統一模試試験の実施	<p>次の通り予定通り実施した。</p> <p>【開催日】 会場はクローバープラザ</p> <p>10月29日(日) 9:30～15:30</p> <p>【受験者】 76名</p>
その他	<p>受験対策講座及び全国統一模試受験者へ国家試験合格の追跡調査を行った。(合格率76.9%)</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>受講者数に関しては、昨年度に比べ大幅に増加(29名→51名)した。例年と比較し想定外の受講申し込みがあり、会場の座席定員ぎりぎりまで受け入れた。模擬試験に関しても、受験者数が大幅に増加(53名→76名)した。</p> <p>講座では、8月20日の一科目が講師事情で休講となったため、9月24日に振替開催したほかは大きな混乱は生じず、滞りなく実施することができた。</p> <p>2018年度に関しては学生が受講しやすいように、また、多くの方が受講できるように早めの広報等にも力を入れ実施したい。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
研修会の開催 (年間2回)	<p>第1回研修 独立している社会福祉士に聞いてみよう ～ 夢をかたちに～</p> <p>日 時：2017年7月8日(土) 14:30～16:40 場 所：クローバープラザ 内 容：アンケート結果報告。 ファイナンシャルプランナーによる基調講演「独立するために必要な【お金】の話」 独立・開業している社会福祉士からの実践報告とシンポジウム。 受講者：29名</p> <p>第2回研修 独立に向けて自分の価値を高めよう ～ 自分の色を知ろう ～</p> <p>日 時：2018年3月10日(土) 13:00～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：「税金の話【確定申告】青と白 あなたはどっち？」(内部講師) 「自分の価値を知る 『独立に向けて視点の切り替え』」(内部講師) 受講者：15名</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>2016年度に委員会を立上げ、会員に向け「独立・開業」に対するアンケートを実施。アンケート結果を踏まえ、委員の公募を行い2017年度に会員の独立・開業を支援すると共に独立・開業している会員のネットワーク構築を目的とした委員会活動を8名の委員で開始した。</p> <p>(1) 委員会の運営について</p> <p>独立・開業している委員が4名、今後独立・開業を検討している委員が4名という構成で委員会を運営してきた。現在独立している委員からは「運営に必要」な意見、独立を検討している委員からは「独立に必要」な意見があり、バランスの良い委員会運営ができた。</p> <p>(2) 研修会の開催について</p> <p>アンケート結果を委員会で協議し研修会を組み立てた。会員の興味は独立までの「準備金」や「業務形態・内容」に集中していたので、第1回の研修は会員のニーズを満たす内容で組み立てた。</p> <p>第2回は第1回の研修のアンケート及び、懇親会参加者が委員に質問した内容を反映させる「税金」と「社会福祉士の独立・開業とは」というテーマで研修を組み立てた。第2回は、九州・沖縄ブロック及び山口県社会福祉士会へ研修案内を送付した。</p> <p>2017年度は委員を公募し本格運営を開始したが、委員会・研修会の運営をゼロベースで作り上げる必要があり、委員全員のコンセンサスを得ることが困難であった。</p> <p>会員の意見やアンケート結果を踏まえ、委員の特色を活かしながら、委員会として共通認識のもと、目的に向かって進んでいけるよう会議を開催することで、独立を目指す会員のへの支援を行う。また、独立をしている会員のネットワークを構築することで、業務に関する情報共有やワークシェアを行い、リスクヘッジを担える委員会となるよう運営を行っていく。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
ミニ研修会の開催(年1回)	日 時：2017年6月17日(土) 15:00～17:00 場 所：博多事務所 内 容：福祉レジェンド～先輩の話を聞こう～ 講 師：岡田 正昭 氏 (ばあとなあ福岡委員会委員長) 受講者：9名
ブロック研修会の開催	第1回福岡ブロック研修会 日 時：2017年9月3日(日) 14:00～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：「BPSDを回避するケアを考える ～認知症の方からのメッセージが聞こえて いますか～」 講 師：東京都健康長寿医療センター 伊東 美緒 氏 受講者：59名  第2回福岡ブロック研修会 日 時：2018年2月4日(日) 14:30～16:30 場 所：クローバープラザ 内 容：「スクールカウンセラーの業務の実際 ～学校で働く日々のレポート～」 講 師：臨床心理士 シャルマ直美 氏 受講者：13名
施設見学研修の開催	福岡少年院見学研修 日 時：2017年11月9日(木) 13:30～15:00 場 所：福岡少年院(福岡市南区) 参加者：17名
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> (1) 2017年度は研修会を2回とミニ研修会を1回、施設見学を1回実施した。ミニ研修会は、参加者は少ないが、社会福祉士の先輩の話を聞く貴重な体験となり、参加者から好評を得ている。2018年度も昨年同様の活動計画を立案している。 (2) ブロック研修会では今後も認証研修にはないテーマを抽出して開催をする。 (3) 施設見学は施設の受入れに制限があるために募集人数に定員を設けているが、例年定員を超えた参加申し込みがある。入会促進の意味を込めて非会員も受け入れていたが、今後は会員を優先として受付を行う。 (4) 福岡ブロックは、会員数は多いが会員同士としての相互の関係が希薄な傾向があるため、研修会等を通じて、継続して会員間の絆を強める活動を行うとともに、長期的には災害委員会の活動とも絡めて活動内容とブロック機能の充実を図りたい。	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
北九州ブロック研修会の開催	<p>第1回 日 時：2017年10月20日(金) 19:00～21:00 場 所：ジャポラマ&amp;バロン テーマ：『ダイレンケイ』 仕事を頼める人、外にいっぱいいますか？」 話題提供：「障がい者の就労支援に関する一考察」 話題提供者：飯干 真冬花 氏 (ILP お茶の水医療福祉専門学校) 受講者：43名</p> <p>第2回 日 時：2018年3月17日(土) 14:00～16:00 場 所：西南女学院大学 テーマ：「災害ソーシャルワークを考える」 講 師：伊東 良輔 氏 (ぱるむ) 大山 和宏 氏 (和楽えのき) 多田 祐二 氏 (古賀市社会福祉協議会) 座 長：今村 浩司 氏 (西南女学院大学)</p> <p>話題提供：「今後の地域医療の進め方」 話題提供者：青木 穂高 氏 (北九州市役所) 座 長：大川内 恵子 氏 (福岡県医療ソーシャルワーカー協会) 受講者：74名 ボランティア参加：西南女学院大学 学生3名</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>昨年度は、10月に「つながり」をテーマに研修・交流会を開催し、参加者と話題提供者、ブロック幹事との親睦を図った。また、参加者から「私の職場と活動PR」を行って頂き、社会資源の周知と顔の見える関係づくりを行った。</p> <p>3月の社会福祉専門職5団体合同連絡会においては、「災害支援」をメインテーマに、活動報告を行って頂き、「社会福祉専門職に何ができるのか」を考える研修会を行った。</p> <p>また、話題提供として地域包括ケアシステムにおける北九州市の取り組みについて、行政より情報提供を頂き、周知を図った。</p> <p>2018年度においても社会福祉士が領域を問わず、知識の向上はもちろん、広くネットワーク(人的社会資源)を構築していけるように努めていきたい。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
権利擁護についての研修会開催	<p>第1回筑豊ブロック研修会</p> <p>日 時：2017年5月27日(土) 14:00～17:00</p> <p>場 所：立岩公民館(飯塚市新飯塚 20-30)</p> <p>内 容：地域における権利擁護・成年後見活動の実際や連携について</p> <p>講 師：一般社団法人そーしゃる・おふいす 代表 山口 千恵 氏</p> <p>受講者：28名</p>
認知症と特殊詐欺についての研修会開催	<p>第2回筑豊ブロック研修会</p> <p>日 時：2017年11月18日(水) 13:30～17:00</p> <p>場 所：立岩公民館(飯塚市新飯塚 20-30)</p> <p>内 容：認知症の理解と特殊詐欺について</p> <p>講 師：社会福祉法人北九州市社会福祉協議会 渡部 文華 氏</p> <p>受講者：15名</p>
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>研修会については、両研修ともに大変好評であった。理由としては、内容が私たち社会福祉士にとって、課題となっているテーマであり、受講者の興味関心が高かったためと考えられる。反省点としては、研修日程が他の研修と重なっており、日程調整が必要であった。2018年度は、講師との調整段階で、極力他の研修と日程が重ならないようにしたい。</p>	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
筑後ブロック主催の研修会の開催 (年3回)	<p>第1回 筑後ブロック 研修会            テーマ：理論・アプローチ研修会            「エコロジカルモデルの理解」            日 時：2017年7月29日(土) 14:00～17:00            場 所：久留米大学            講 師：片岡 靖子 氏            (久留米大学文学部社会福祉学科 准教授)            参加者：45名</p> <p>第2回 筑後ブロック 研修会            テーマ：講義と実践事例の検討会            日 時：2017年11月11日(土) 14:00～17:00            場 所：姫野病院            講 師：梅田 真嗣 氏            (社会保険大牟田天領病院            地域医療連携室課長)            参加者：30名</p> <p>第3回 筑後ブロック 研修会            テーマ：ブレインストーミングとワークショップ            (講演と意見交換)            日 時：2018年2月17日(土) 14:00～17:00            場 所：聖マリア学院大学            講 師：森住 明弘 氏            (NPO 法人大阪ごみを考える会 理事長)            参加者：30名</p>
筑後ブロック幹事会の開催 (年3回)	幹事会を開催し、研修の企画立案、実施を行った。また、併せてブロックの在り方や新規会員の獲得方法についても話し合いを行った。
<p><b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b></p> <p>計画通りに年3回の研修会(内一回は懇親会も実施)を実施することができた。研修参加者は2015年度の34名から増加し、2016年度108名、2017年度105名と推移している。要因は、ブロック幹事で企画案を練り、足を使って広報したことである。2018年度も、魅力ある企画と足を使った広報を継続する。特に2018年7月には上野千鶴子氏の講演を久留米市介護福祉サービス事業者協議会と共催で行う予定である。こういった他団体との連携協働をブロック単位で行っていく。</p> <p>課題としては、研修参加者の増加が、新規会員増加に結びついていない。2018年度は、研修の分析と会員増につながる取り組みを検討する。</p>	



委員会名・事業チーム名：(総務委員会)

担当理事名：青柳 壮悟

2017年度事業計画	2017年度事業報告
本会の諸活動に関して、助言や支援を行う。	2017年度事業計画に基づいた本会の諸活動について、確認し、助言を行った。
本会の諸規定(定款や規程等)の改正、整備に関して助言を行う。	本会の諸規定(規程)の改正、整備について確認を行った。
本会の諸活動に関して、必要に応じ評価を行う。	本会の諸活動に関して、第1期中期経営計画及び2017年度事業評価を行った。
その他、会長からの特命事項について、助言や支援を行う。	その他、会長からの特命事項に対して、助言や支援を行った。
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> 2017年度は、第1期中期経営計画の2年目として、進捗状況の確認及び事業評価を行い、目標の修正が必要な点について協議した。2018年度は、3年目として第2期中期経営計画を見据えた準備を進めて行きたい。	

委員会名・事業チーム名：(日本社士会支援)

担当理事名：青柳 壮悟

2017年度事業計画	2017年度事業報告
年会費の支弁	本会会員ひとり当たりの負担金5千円に会員数を乗じた額を日本社会福祉士会へ納入。
新入会者経費の支弁	会員証の発行、会員バッジ、生涯研修手帳等新入会者への送付手続きを日本社会福祉士会に委託するため、その負担金として、ひとり当たり1,000円を日本社会福祉士会へ納入。
綱紀案件負担金の支弁	綱紀案件発生時に日本社会福祉士会にその対応を委託するため、それに伴う多額の経費負担の一部を全国県士会がそれぞれ負担。 (2017年度負担金=2018年4月1日時点の会員数×200円)
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> すべて計画通り実施した。2018年度も上記同様実施する。	

2017年度事業計画	2017年度事業報告
社員総会の開催 2017年6月25日(日)	社員総会の開催 2017年6月25日(日) 予定通り開催
理事会の開催 理事会(全8回) ①第1回 2017年 4月16日 ②第2回 5月21日 ③臨時 7月2日 ④第3回 9月10日 ⑤第4回 10月15日 ⑥第5回 12月10日 ⑦第6回 2018年 1月28日 ⑧第7回 3月11日	理事会の開催 理事会(全8回予定通り開催) ①第1回 2017年 4月16日 ②第2回 5月21日 ③臨時 7月2日 ④第3回 9月10日 ⑤第4回 10月15日 ⑥第5回 12月10日 ⑦第6回 2018年 1月28日 ⑧第7回 3月11日
会員理事の追加選任 ① 選挙管理委員会の開催 ② 会員理事立候補者の公開 ③ 社員総会にて追加選任 ④ 理事の変更登記、県への届出	会員理事の追加選任 社員総会において会員理事2名が追加選任された。
組織強化 ① 入会促進策の実施 ・入会キャンペーン ・入会者紹介キャンペーン ・次年度先行入会キャンペーン ② 役職員研修会の実施 ・役職員研修会 ・公益法人会計セミナー、年末調整セミナー等への参加 ・日本社会福祉士会事務局職員研修への参加	組織強化 ① 入会促進策の実施 ・入会キャンペーンは未実施。 ・入会者紹介キャンペーン、次年度先行入会キャンペーンは実施。 ② 役職員研修会の実施 ・役職員研修は未実施。 ・公益法人会計セミナー、年末調整セミナーに経理担当職員が参加した。 ・日本社会福祉士会事務局職員研修へ事務局職員1名が参加した。
<b>総括 (2018年度に向けた課題等)</b> 入会促進策については再検討が必要。2017年度実施しなかった役職員研修は2018年度に実施する。	